

中学歴史 日本と世界

改訂版



「考え」、「深める」。
高校の歴史につながる。

内容解説資料

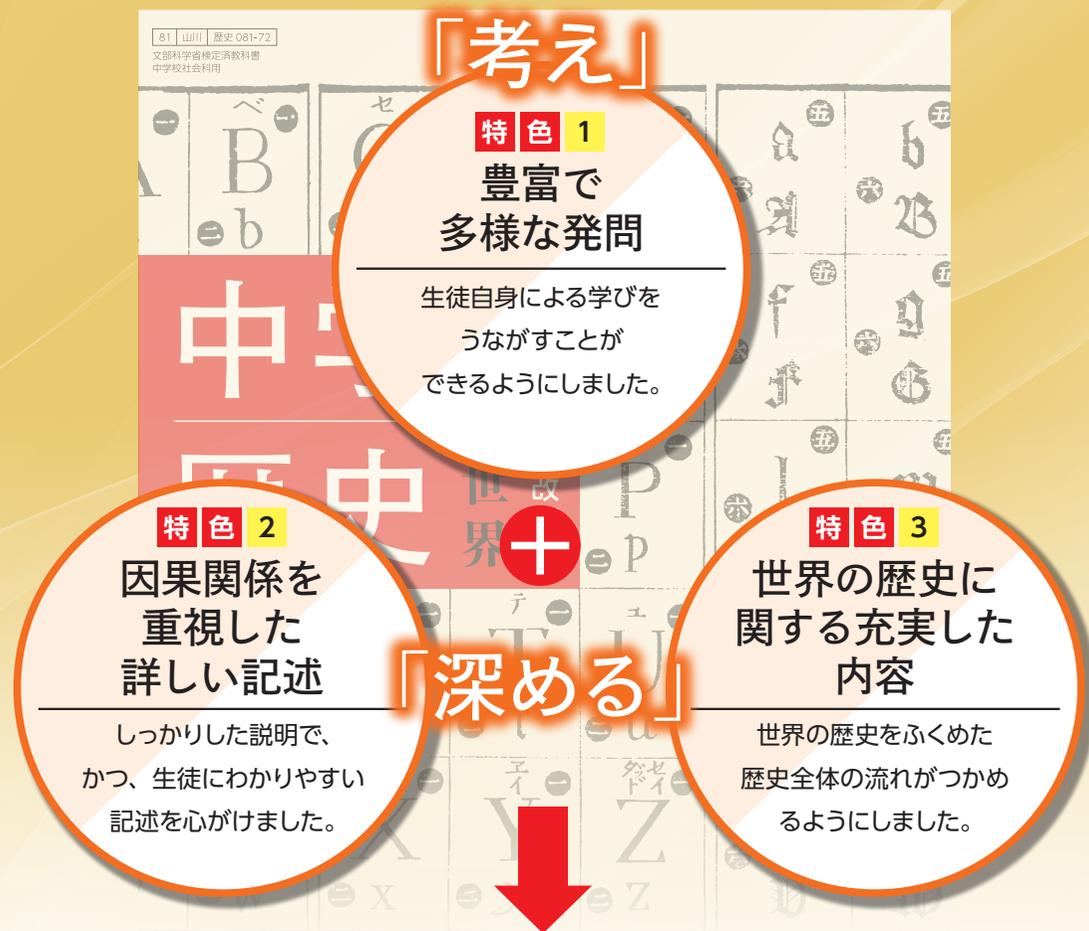
この資料は一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に
則っております。

- 本書のコンセプト …… P.2
- 特色 / 変更点 …… P.3
- 著者メッセージ …… P.4
- 目次と配当時間例 …… P.6
- 本書の特色 …… P.8
- 教師用指導書 …… P.18
- 準拠ノート …… P.26
- デジタル教科書 …… P.28
- 教育基本法との対応 …… P.29
- 検討の観点 …… P.30



山川出版社

『中学歴史 日本と世界 改訂版』がめざしたこと



高校の歴史につながる。

生徒自身による学びをうながすように工夫した発問や、しっかりとした説明でありながらもわかりやすい記述、世界の歴史をふくめた歴史全体の流れがつかめるような内容から、小学校社会科のみならず、高等学校の学習との円滑な接続ができるようにしました。



『歴史総合 近代から現代へ』



『詳説日本史』



『詳説世界史』

「考える」、「深める」。高校の歴史につながる。



豊富で多様な発問 →p.8

- さまざまなパターンの豊富な発問を通して、生徒自身による主体的・対話的で深い学びをうながし、考える力を養えるように工夫しました。
- 社会的事象の歴史的な見方・考え方が身に付くよう、時期や理由、経緯や差異などに着目できる発問を心がけました。



因果関係を重視した詳しい記述 →p.10

- 因果関係を重視したしっかりとした説明でありながら、わかりやすい記述を心がけました。
- 「近代化」など高等学校での学習でも求められる概念を盛り込み、「用語解説」で解説して、深い理解をうながせるようにしました。



世界の歴史に関する充実した内容 →p.12

- 世界の歴史を充実させるとともに、日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連を意識した記述にしました。
- 各章の扉には、日本と世界のできごとを上下に分けて示す帯年表を付し、視覚的に流れをつかむことができるようにしました。



高等学校の歴史学習との円滑な接続ができる教科書

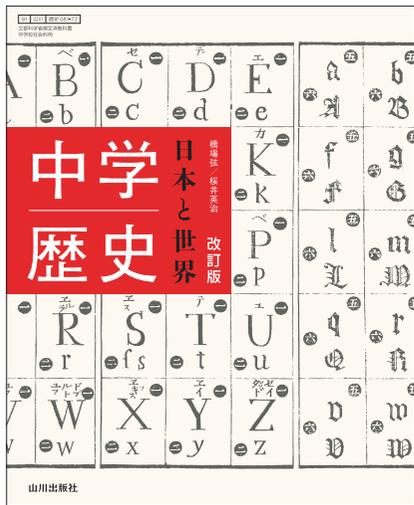
- 高等学校の歴史学習では、生徒自身が「問いを表現する」活動が求められます。本教科書の豊富で多様な発問から、中学生の段階で問いに主体的に取り組む態度を身に付けることができます。
- 高等学校の歴史学習では、概念に関する理解や、日本の歴史のみならず世界の歴史に対する理解が求められます。本教科書の因果関係を重視した詳しい記述や、世界の歴史に関する充実した内容から、中学生の段階で概念や世界の歴史に関する基礎的な理解を得ることができます。

『中学歴史 日本と世界』(歴史 708) からのおもな変更箇所はこちらよりご確認ください。



中学歴史 日本と世界 改訂版

AB判 (257mm×210mm) 296ページ



【編者】

橋場 弦 東京大学教授 桜井英治 東京大学教授

【著作者】

池田嘉郎 東京大学教授	長井伸仁 東京大学教授	柿沼亮介 早稲田大学高等学院教諭
板垣 暁 北海学園大学教授	橋本 雄 北海道大学教授	菊池陽太 開成中学校・高等学校教諭
市川大祐 北海学園大学教授	村木二郎 国立歴史民俗博物館准教授	鈴木健史 豊島岡女子学園中学校・高等学校教諭
岩淵令治 学習院女子大学教授	守川知子 東京大学准教授	高橋 哲 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭
小倉真紀子 前北海道大学准教授	吉澤誠一郎 東京大学教授	松本英治 開成中学校・高等学校教諭
鐘江宏之 学習院大学教授	渡辺美季 東京大学教授	株式会社山川出版社
谷本晃久 北海道大学教授	渡邊宏明 海城中学高等学校教諭	

【編集協力者】

馬場 基 奈良文化財研究所平城地区史料研究室長

Message



橋場 弦 (はしば ゆづる)
東京大学教授

歴史を学ぶ中学生が、日本だけではなく世界の歩みも平易に理解できるようにと願ってつくったのが、この教科書です。

歴史を学ぶ意味は、私たちがちがう時代や地域に生きた人びとに出会うことをとおして、自分自身を理解することにあります。自国のことしか知らない人は、その自国のこともじつはよく理解していません。日本のことだけを学んでも、それを取り巻く諸地域との交流や、世界全体が歩んできた大きな流れを理解しなければ、日本という国の成り立ちを知ったことにはなりません。

日本列島に住む人びとは、古代から周辺の東アジア世界の影響を強く受け、またのちには欧米諸国を模範として近代化への道を歩きました。この教科書では、世界の歴史から見た日本の位置をわかりやすく説明するようにつとめました。

中学校から高校に進学すると、「歴史総合」「世界史探究」「日本史探究」の学習も始まります。そうした科目学習へスムーズに入ってゆくための予備知識も、この教科書は提供してくれま

す。グローバル化の進んだ現在の世界は、地域紛争や格差の拡大、地球環境の破壊など、さまざまな問題に直面しています。世界がどのようにして今日のような姿になったのか、その諸問題がどのような背景から生じてきたのかを、中学生がこの教科書からぜひ学び取って欲しいと願っています。



桜井 英治 (さくらい えいじ)
東京大学教授

私たちは、大人の入り口に立つ中学生のみなさんに、ぜひ歴史的なモノの見方や考え方を身につけてほしいと願っています。今の私たちの生活や技術は一朝一夕にできたわけではなく、何世代にもわたる先人たちの努力や試行錯誤の積み重ねにほかなりません。このごく当たり前の事実思いをはせて欲しいのです。また、人類は成功ばかりでなく、多くの失敗も繰り返してきました。現代に繋がることなく減んでいった文明もたくさんあります。そのような失敗や滅亡の原因を考えることも大切な勉強でしょう。

一方、美しい自然や限りある資源は今生きている私たちだけのものではなく、まだ生まれてきていない未来の世代のものでもあります。過去と未来の双方を見通すことで、私たち一人一人の人生も長い人類史の一部であることを知るでしょう。それは、これから大人になり、社会を背負ってゆく中学生にとって、とても大事な経験です。私たちは、この教科書をおとしてその瞬間によりそいたいと考えています。

高校では、近現代史を中心に講じられる「歴史総合」という新しい科目も待っています。そのときにあわてないためにも、私たちの教科書で前近代史からしっかりと学び、さらに「日本史探究」「世界史探究」を学ぶ際に役立つ思考力のベースを、身につけてほしいと思います。

サポート教材



教師用指導書

➡p.18

- 教科書に掲載された用語や図版の解説を盛り込み、学習指導案を付した、授業前にご確認いただくのに便利な1冊です。
- 学習指導要領や、社会科の学習評価とその方法のポイントもわかりやすく示しています。
- 「付属データ集」には、「授業用スライド」のほか、教科書紙面や教科書掲載地図・図版、教科書掲載発問への解答など、便利なコンテンツが多数収録されています。



準拠ノート

➡p.26

- 教科書の内容に準拠した内容のノートです。「教師用指導書付属データ集」収録の「授業用スライド」と内容をあわせており、両方の使用でより学習効果が高まります。
- ノートとしての役割だけでなく、簡単な穴埋めテストとしても利用できるように制作しています。
- テーマごとに見開き2ページで制作しています。学習課題や、ステップアップも収録しています。



デジタル教科書 指導者用(教材)・学習者用

➡p.28

- デジタル教科書(指導者用)には、地図・グラフアプリ機能、追加図版機能、Q & A アプリ機能など、便利な機能が搭載されています。



高橋 哲 (たかはし あきら)
渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭

思いのほか中学生は歴史好きで、流行のゲームやアニメの影響からか戦国時代などはたいそう博識ですが、一方で暗記科目と断じます。高校でも同様に、日本史と世界史を選択することは「W史は大変」と言われます。原因は、人物や事件名など歴史の知識が無機質な「点」に留まっていることによるのではないかと日々生徒と接していて感じます。

この教科書では、あるできごとがどこから来て、どこへとつながっていくのか、歴史における意義は何か、画期・分岐点はどこか、に重きを置き、知識が有機的につながるような記述につとめました。

とくに高校生が等しく学ぶ「歴史総合」への架橋として、近代以降では、たとえば「国家」「植民地」「日本経済」「普通選挙」「憲法」「領土」などについて「歴史へのアプローチ」や「歴史を考えよう」というページを配し、「用語解説」も適宜設けて、苦手としがちな概念用語にも向き合えるようにしました。あわせて、グラフ・絵図の読みときや、とくに「問い」を表現することが面白くなるように工夫しました。「問い」は教科書の随所に配し、「日本史探究」「世界史探究」に通じるものも、一部用意しました。

この教科書で学ぶことにより、歴史を「線」や「面」としてとらえられるようになり、歴史の授業の時間が待ち遠しくなることを願ってやみません。



菊池 陽太 (きくち ようた)
開成中学校・高等学校教諭

「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目となる」。統一ドイツの初代大統領ヴァイツゼッカーの言葉通り、これからの社会の担い手である中学生が、現在を正しく理解するために歴史を学ぶことはとても大切です。

本書は、知的好奇心に満ちた中高一貫校の生徒の期待にも応えてくれる教科書です。本文の記述内容や記述量、史資料などが大変充実していることはもちろんですが、そのほかにも「歴史へのアプローチ」(琉球の歴史と文化、近代日本と女子留学生など)・「地域からのアプローチ」(奈良、札幌、広島など)・「歴史を考えよう」(関所を考える、江戸図屏風を読み解くなど)等、様々な角度から多彩なテーマで特集を組み、中学生の歴史についての興味や関心を最大限に引き出す構成になっています。

また、書名にもみられる通り、日本だけでなく世界も含めた歴史全体の流れを重視している点も、本書の大きな特徴です。地図とイラストを用いて当時の世界を視覚的に表現した「〇世紀の世界」など、中学生の理解を助けるための様々な工夫もこらされています。さらに、山川出版社の高校歴史教科書と継続性をもって学習できる中学歴史教科書である本書で学ぶことは、生徒にとって大きなメリットとなります。多くの中学生がこの教科書を使って、高等学校につながる歴史の学びを体感してほしいと願っています。

第1章 歴史との対話	2
1節 私たちと歴史	2
2節 身近な地域を調べよう	4
第2章 古代までの日本	6
1節 世界の諸文明	6
1 人類の誕生と進化	
2 古代文明の始まり	
3 地中海文明の発展	
4 中国文明と東アジア	
5 宗教のおこり	
■ 2世紀の世界	
2節 日本文化のあけぼの	4
1 縄文文化の誕生	
2 稲作の広まりと弥生文化	
歴史へのアプローチ①	
中国の記録に見る日本列島	
3 古墳とヤマト政権	
3節 律令国家の形成	6
1 ヤマト政権の政治改革と飛鳥の文化	
2 律令国家への道	
3 律令国家の仕組みと人々の暮らし	
4 平城京と天平文化	
地域からのアプローチ① 奈良	
■ 8世紀の世界	
4節 貴族政治と国風文化	5
1 平安京と弘仁・貞観文化	
2 摂関政治の展開と地方社会	
3 東アジアと国風文化	
歴史を考えた①	
平安京と京都の街を考える	
地域からのアプローチ② 福岡	
まとめ	1

配当時間

第3章 中世の日本	9
1節 中世社会の成立	9
1 荘園の形成と武士の登場	
2 院政と武士の成長	
地域からのアプローチ③ 平泉	
3 鎌倉幕府の成立と執権政治	
4 武士と民衆の生活	
5 鎌倉時代の文化	
歴史を考えた②	
マンガの源流、絵巻物を考える	
歴史へのアプローチ②	
西アジアとヨーロッパの交流	
■ 13世紀の世界	
2節 武家社会の成長	9
1 モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望	
2 南北朝の動乱と室町幕府の成立	
3 東アジアの変動と日本の国際関係	
歴史へのアプローチ③	
琉球の歴史と文化	
歴史へのアプローチ④	
アイヌ民族の歴史と文化	
4 産業・流通の発達と都市・農村の変化	
歴史を考えた③ 関所を考える	
5 応仁の乱と戦国大名	
6 室町時代の文化	
まとめ	1
第4章 近世の日本	4
1節 一体化へ向かう世界	4
1 ルネサンスと宗教改革	
2 ヨーロッパの人海外進出	
3 ユーラシア大陸と海でつながる世界	
■ 16世紀の世界	

2節 近世社会の成立	4
1 ヨーロッパ人との出会い	
2 信長・秀吉の全国統一	
3 豊臣秀吉の政策	
4 桃山文化	
3節 幕藩体制の確立	4
1 江戸幕府の全国支配	
2 江戸時代の社会の仕組み	
3 江戸時代初期の外交と貿易	
4 江戸時代の対外関係	
4節 幕藩体制の展開	4
1 農業・諸産業の発達	
2 交通・流通の発達と三都	
3 幕府政治の安定と元禄文化	
歴史を考えた④	
江戸図屏風を読み解く	
5節 幕藩体制の動揺	7
1 貨幣経済の発達と享保の改革	
2 田沼時代と社会の変化	
3 寛政の改革と対外的な危機	
4 新しい学問と化政文化	
歴史へのアプローチ⑤	
都市の暮らしと名所	
5 内憂外患と天保の改革	
地域からのアプローチ④ 金沢	
■ 18世紀の世界	
まとめ	1
第5章 近代の日本と国際関係	4
1節 欧米諸国の近代化と日本への接近	4
1 市民革命の時代	
2 産業革命と社会の変化	
3 アメリカの発展とロシアの東方開発	
4 ヨーロッパ列強のアジア侵略	
2節 開国と幕末の動乱	3
1 開国と条約締結	
2 貿易の開始と攘夷運動	
3 江戸幕府の滅亡	

3節 立憲国家への道	9
1 明治維新と諸改革	
歴史へのアプローチ⑥	
国家とは何か	
2 富国強兵と殖産興業	
歴史を考えた⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える	
3 文明開化と欧米文化の導入	
4 明治初期の対外関係	
歴史へのアプローチ⑦	
近代日本と女子留学生	
5 自由民権運動と国会開設	
6 憲法制定と帝国議会	
4節 日清・日露戦争とアジア	6
1 欧米の帝国主義	
2 初期議会と条約改正	
3 日清戦争	
4 日露戦争と東アジア	
5 日本の大陸進出と辛亥革命	
歴史へのアプローチ⑧	
日本の植民地	
5節 近代日本の産業と文化	4
1 日本の産業革命と経済の発展	
地域からのアプローチ⑤ 札幌	
2 都市と農村の変化	
3 明治の文化と教育	
まとめ	1
第6章 二つの世界大戦と日本	9
1節 第一次世界大戦と日本	9
1 第一次世界大戦と国際関係	
2 ロシア革命	
3 ヴェルサイユ条約と国際関係	
4 アジアの民族運動	
5 大正デモクラシーと政党内閣の成立	
歴史へのアプローチ⑨	
1920年代の日本経済	
6 社会運動の高まりと普通選挙法の制定	

歴史を考えた⑥	5
第1回普通選挙の実態を探る	
7 大衆文化の発展とその背景	
2節 国際協調の崩壊	5
1 世界恐慌とその対応	
2 ファシズムの台頭	
3 昭和恐慌と政党政治への反発	
4 軍部の台頭	
5 日中戦争と戦時体制の強化	
3節 第二次世界大戦と日本	5
1 第二次世界大戦	
2 太平洋戦争の始まり	
3 戦時下の国民生活	
4 第二次世界大戦の終結	
地域からのアプローチ⑥ 広島	
まとめ	1
第7章 現代の日本と世界	9
1節 戦後の日本と国際社会	9
1 占領下の日本	
2 日本国憲法と民主化	
歴史を考えた⑦	
大日本帝国憲法と日本国憲法	
3 冷戦の時代とアジア・アフリカの独立	
4 独立回復と日米安保条約	
5 国際関係の変化と日本の外交	
歴史へのアプローチ⑩	
日本の領土の変遷	
6 高度経済成長と公害問題	
7 戦後の社会と文化	
2節 新たな時代の日本と世界	4
1 冷戦の終結	
地域からのアプローチ⑦ 沖縄	
2 今日の世界	
3 今の日本、これからの日本	
まとめ	1
さくいん	

合計 132時間
予備 3時間
135時間

この教科書の使い方

1 欧米の帝国主義

● 欧米列強の進出によって、世界はどのように変わったのだろうか。

このテーマのタイトルと、このテーマを学習する中で、考えてほしい課題を示しています。

Q 万博は参加国にとって、どのような意義があったのだろうか。

写真やグラフ、コラムなどに関連して、考えてほしい課題を示しています。

ステップアップ
帝国主義の列強と古代の帝国はどこが異なっているか、考えてみよう。

このテーマを学んだうえで、より主体的に深めてほしい課題を示しています。

歴史へのアプローチ

テーマを設定し、歴史的に深くほり下げて解説しています。

地域からのアプローチ

地域の歴史をさまざまな角度から歴史的に考えるページです。

歴史を考えた

取り上げた課題を話し合い、考察しながら学ぶページです。

2世紀の世界

各時代の世界の様子を地図とイラストで紹介しています。

【マークについて】

 コラム 教科書の内容をより深めていくためのコラムです。	 人物 歴史上の人物について、くわしく説明しています。
 史料 重要な歴史上の史料(資料)です。	 用語解説 意味がわかりにくい言葉について、解説しています。

 **世界遺産マーク**
ユネスコ(UNESCO)に登録されている世界遺産です。

 **国宝マーク**
日本で国宝に指定されている文化財です。

 **QRコード**
ここから、博物館・資料館のウェブページや、動画・拡大画像などを見ることができます。

豊富で多様な発問

さまざまなパターンの豊富な発問を通して、生徒自身による**主体的・対話的で深い学び**をうながし、考える力を養えるように工夫しました。また、社会的事象の**歴史的な見方・考え方**が身に付くよう、時期や理由、経緯や差異などに着目できる発問を心がけました。

導入 学習課題

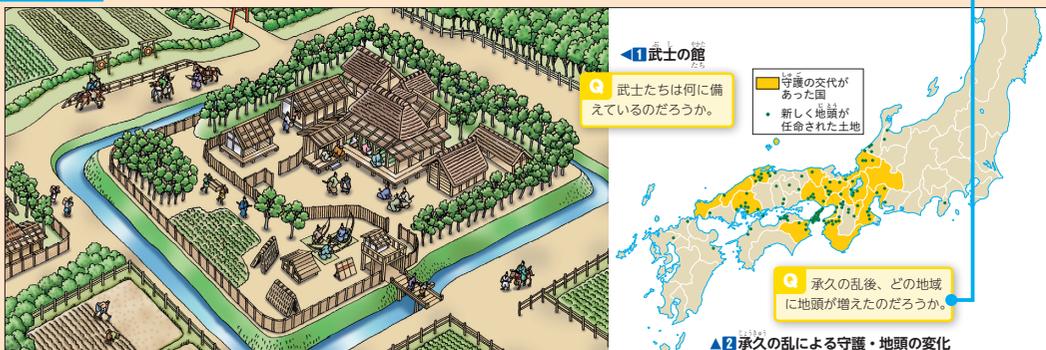
見開き冒頭には、その時間の学習内容を理解するための**学習課題**を付し、見通しを持って学習に取り組むことができるようにしました。

p.100
「第3章 まとめ」

2 農村にいる**農民**の立場で考えてみよう

あなたは農民です。今年は天候が悪く、農作物の育ちが良くありませんでした。自分たちの生活を守るために、何ができるでしょうか。だれからの支配を受けていたのかを考えながら、対応策を考えてみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	
南北朝時代	農民たちが結束して年貢の軽減を荘園領主に訴える。
室町時代	
戦国時代	



① 武士の館
Q 武士たちは何に備えているのだろうか。

② 守護の交代があった国
・新しく地頭が任命された土地

③ 承久の乱後、どの地域に地頭が増えたのだろうか。

▲2 承久の乱による守護・地頭の変化

4 武士と民衆の生活

- ① 7世紀の後は、なぜ朝廷に政治権力を集中させようとしたのだろうか。
- ② 朝廷に権力が集中する中で、天皇と家臣との関係はどのように変化したのだろうか。

Q 地頭請や下地中分で、荘園領主にはどのような利点があったのだろうか。



▲3 伯耆国東郷荘の下地中分図 (模本)
東京大学史料編纂所蔵

くわく見てみよう
伯耆国東郷荘の下地中分図

「武士の生活」 地頭に任じられた武士は、堀や土塁で周囲を囲った館に住み、現地の管理者として、農民から年貢や諸税を徴収して国司や荘園領主におさめ、一定の収入を得ていた。また、館の周辺には地頭の田畑があり、下人や周辺の農民を使って耕作させた。農民にとっては、地頭も荘園領主と並ぶもう一人の領主であった。

武士の一族は、本家の家長である惣領を中心に結束し、戦時には一族の家長や子弟は惣領の指揮に従った。ただし土地や財産などの相続は分割相続が原則であり、家長をつぐ者だけでなく、その兄弟や姉妹にも領地がゆずられた。鎌倉時代までは女性の相続権も強かったため、地頭になる女性もいた。

武士の生活は一般に簡素で、日ごろから戦いに備えて弓矢や乗馬の訓練をしていた。武勇と名誉を重んじ、恥をきらう武士の気質は、「弓馬の道」「兵の道」と呼ばれ、のちの**武士道**の起源となった。

「武士の土地支配」 地頭と荘園領主の間には、現地の支配権や地頭による年貢の未納などをめぐって、争いが絶えなかった。特に承久の乱後は多くの地頭が任命されたことから、争いはますます拡大した。

荘園領主は初め、地頭を任命した幕府に訴え出ることで問題を解決しようとしたが、現地を支配する地頭を従わせることは難しかった。そこで荘園領主は、やむなく荘園の管理を全て地頭に任せるかわりに、毎年一定の年貢を確実におさめさせる**契約**を結んだ(地頭請)。さらには幕府の立ち会いの下、荘園領主と地頭とで荘園を二分し、以後、相手の土地には干渉しないという取り決めを交わすこともあった(下地中分)。その結果、当初複雑に入り組んでいた荘園領主と地頭の領地は地理的に分離することになったが、実際には、荘園領主の領地に対する地頭の侵害は

展開 豊富な発問

見開き冒頭の学習課題や、最後のステップアップだけでなく、**豊富かつ多様な種類の発問**を設け、主体的・対話的で深い学びができるようにしました。なかには、2次元コードを使用し、拡大した絵図などを見て考察する発問もあります。

1997(平成9)年に制定され、「北海道旧土人保護法」を廃止した「アイヌ文化振興法」の意義や、2019(令和元)年に制定され、アイヌ民族が先住民族であると記した「アイヌ施策推進法」の意義を調べ、これから目指すべき社会の姿について、話し合ってみよう。

p.205 「地域からのアプローチ⑤ 札幌」 ▲



▲4 備前国福岡市の様子
【一瀬上人絵伝】神奈川県 清浄光寺(遊行寺)蔵

くわく見てみよう
備前国福岡市



その後も続いた。平安時代後期から鎌倉時代初期にかけては、新しい「民衆の生活」 荘園が次々に成立して土地の開発が進み、農業収穫量が増えた。しかし鎌倉時代の半ばごろになると、気候が不順になり、飢饉が増えてきたため、土地の生産性を高めるためのさまざまな工夫が見られるようになった。

用水路やため池による灌漑が広く行われ、鉄製の農具や牛馬を利用した農耕も広まった。肥料には山野の草や木をそのままいたり、焼いて灰にしたものが使われたりした。また、畿内や西日本の水田では稲作が終わると、その田で麦をつくる**二毛作**も始まった。農耕の間には蚕が飼われ、絹や麻の布が織られた。

また、このころの荘園では、用水路の整備・修理などの共同作業を通じて農民の連帯意識が強まり、年貢の軽減や地頭の解任などを求めて、集団で荘園領主に訴えたり、逃亡したりすることもあった。

荘園領主や武士が多く住み、全国から大量の年貢や物資が集まる京都・奈良・鎌倉などの都市では、それらを売買する常設の店舗(見世棚)が発達し、高級な織物や工芸品もつくられた。

地方では、荘園・公領の中心地や寺社の門前などに、月に三度の**定期市**が開かれ、米や日用品のほか、地域の特産品や、商人の手で京都などから運ばれてきた織物・工芸品なども売買された。陸上・海上交通の要地には宿や港などの**町場**ができ、港には年貢や商品を保管する**間(間丸)**が発達した。

売買の手段としては、米や絹にかわって、宋(南宋)から輸入された宋銭が広く用いられるようになり、一部の荘園では年貢の銭納も始まった。京都や鎌倉では借上などの金融業者も多く見られるようになった。

- ① 一遍は何をしているのだろうか。
- ② どのようなものが売買されているのだろうか。
- ③ この場所が市が開かれたのはなぜだろうか。

▲5 阿比河荘荘民の訴状
阿比河荘上村の百姓らがつしんを申し上げます。一、御材木のことでございませうが、地頭が上京するのだから、近所の入夫役とかを申しして、夫が地頭のほうでございませうので、努力と時間がないのでございませう。お前たちがこの麦をまかないで、妻子どもを家に閉じこめ、耳を切り切るぞと、髪を切つて尼にして、縄でしばって苦しめるぞと、厳しく追及されますので、御材木の運搬はましますおくれでございませう。……

建治元年(二七五年)十月二十八日 百姓らが申し上げます。
高野山文書

Q この史料が高野山に残っているのはなぜか、調べてみよう。



▲6 信濃国伴野市の様子 【一瀬上人絵伝】

Q この絵は福岡市と同じように市の風景が描かれているが、なぜ大きく様子が異なるのだろうか。

① ただし、北条氏などの有力な御家人は、鎌倉に住んで政治にたずさわり、領地に派遣して現地を管理させていた。

用語解説
間(間丸) もともと港にいて年貢の保管や積みかえなどに従事していた荘園の役人であったが、やがて商品も取りあつかうようになり、商人化した。現在の問屋の起源でもある。

ステップアップ
荘園絵図がつくられた目的を考えてみよう。

発展 ステップアップ

見開きの最後には、その時間の学習内容をふまえて取り組んでもらいたい**ステップアップ**を設け、生徒の主体的な学びをうながすようにしました。

ステップアップ
定尾鋺毒事件について、政府側・資本家側・住民側の三者の立場から、それぞれの見解を整理してみよう。

p.207 「都市と農村の変化」

p.38
「律令国家への道」

- ① 7世紀の後は、なぜ朝廷に政治権力を集中させようとしたのだろうか。
- ② 朝廷に権力が集中する中で、天皇と家臣との関係はどのように変化したのだろうか。

p.160
「産業革命と社会の変化」

- 産業革命の結果、社会はどのように変わったのだろうか。

▼ 2次元コードから拡大図を見ることができます。



因果関係を重視した詳しい記述

因果関係を重視した記述

高等学校の歴史学習を意識して、しっかりとした説明でありながらも、因果関係を重視したわかりやすい記述を心がけました。

史料

高等学校でも学習する史料を、現代語訳で豊富に掲載しました。



1 田原坂の戦い 西南戦争における最大の激戦。1877(明治10)年2~3月にかけて、熊本城を包囲する西郷軍と政府軍が激戦をくり広げた。この戦いに敗れた西郷軍は敗退の一途をたどった。熊本博物館蔵

なぜ、板垣退助らは民権議院を設立する必要があると述べているのだろうか。

2 民権議院設立の建白書 (一部要約)

私どもがつつしんで現政権がどこにあるかを考えてみますと、上は皇室にもなく、下は人民にもなく、ただ官僚に独占されています。……法律・命令があまりにも多く、朝出は夕方には改まるありきまで、政治は私情によってなされ、貴爵はその人に対する愛憎で決まり、言論の道がふさがれ、困苦のありさまを訴えることもできません。……そこでこれ(国家の崩壊)を救う方法をたずね求めてみましたが、ただ天下の世論をのぼすはかばかありません。天下の世論をのぼすには、民権議院を立てるしかありません。すなわち、官僚の権力を制限してこそ、上下の者が安全と幸福を受けることができるでしょう。(『日新政事誌』)

5 自由民権運動と国会開設

●政府への不満は、どのようなかたちで現れたのだろうか。

五日市憲法

自由民権運動が盛んであった五日市(現在の東京都あきる野市)では、千葉卓三郎を中心に憲法草案が作成された。これを一般的に「五日市憲法」と呼んでいる。特徴は全204条という条文の多さ、国民の権利の保障に力点を置いていることにある。このような憲法は私擬憲法と呼ばれており、全国で約100種近くあるとされ、運動の広がりを知ることができる。



▲五日市憲法が発見された土蔵 あきる野市

自由民権運動の始まり

征韓論を主張していた西郷隆盛や板垣退助らが政府を去ると、大久保利通が政治を主導した。これに対し、板垣らは1874(明治7)年に民権議院設立の建白書を政府に提出した。建白書には、大久保中心の政治への批判や国会開設の要求が記されており、国民が政治に参加する権利の確立を目指す自由民権運動が土族を中心に始まった。

土族の反乱

魔刀令などで多くの特権を失い、政府への不満を強めていた土族は、九州地方を中心に各地で反乱を起こした。その中でも最大規模の反乱が、1877(明治10)年に発生した西南戦争である。これは政府を去って鹿児島に帰郷していた西郷隆盛を中心とした反乱で、政府に不満をいだく鹿児島土族らによって起こされたが、政府は徴兵令に基づいて組織された新しい軍隊を投入して反乱を鎮圧し、敗れた西郷は自害した。西南戦争を最後に土族の反乱はおさまり、以後の反政府運動は武力ではなく、言論による自由民権運動が中心になっていった。

自由民権運動の高まり

板垣退助らは、1874(明治7)年に高知で立志社を設立し、自由民権運動に賛同する民権派の全国組織をつくることを目指した。このような動きに対し、政府は府や県に議院を設け、地主(豪農)や商工業者の積極的な政府支持を得ようとする

コラム

歴史的事象に関する理解を深めるため、コラムを記しています。

主なコラム

古代文字の解説、三国志、日本の神話、神仏習合、海に眠っていた貿易船、木綿栽培、砂糖、富士川の開削、蝦夷地の開発、自由の女神、新選組、万国博覧会、「蛍の光」、イヌエル……

因果関係を重視したしっかりとした説明でありながら、わかりやすい記述を心がけました。また、「近代化」など高等学校での学習でも求められる概念を盛り込み、「用語解説」で解説して、深い理解をうながせるようにしました。

主な人物コラム

イエス、日野富子、鄭和、徳川家康、大黒屋光太夫と高田屋嘉兵衛、オランプ＝ド＝グージュ、渋沢栄一、知里幸恵、尚泰、伊藤博文……

人物コラム

歴史に影響を与えた人物に関する理解を深めるため、エピソード的な要素を盛り込んだ人物コラムを記しています。

西郷隆盛(1827~77)と大久保利通(1830~78)

西郷・大久保はともに明治維新の功労者となったが、幕末の動乱でひととき活躍したのは西郷であった。新政府軍を指揮し、勝海舟との交渉で江戸城の無血開城を実現させるなど、その軍事的功績は抜群であり、明治維新という「革命」期の指導者であった。一方、大久保は明治国家「建設」期の指導者であった。内務卿として殖産興業政策を指導し、富国の実現を目指した。1878(明治11)年5月14日の朝、大久保は来客に対して、こう述べている。維新からの10年は創業の10年、これからの10年は建設の10年、その後は、後進にゆずって引退したい。しかし、それから間もなく内務省への出勤途中に大久保は暗殺される。大久保が「建設の10年」にたざざすることはなかった。



西郷隆盛



大久保利通

など、地方制度の改革を進めて自由民権運動に対抗した。しかし、政府の意図とは異なり、地主や商工業者は議員となることで政治的な関心を強め、逆に自由民権運動に参加するようになった。土族だけでなく、新たに地主や商工業者も参加した自由民権運動は1880(明治13)年に頂点に達し、全国の民権派が大団に集まって、国会期成同盟を結成した。このように自由民権運動が盛り上がる中、国会期成同盟の方針を受けて、各地で憲法の私案(私擬憲法)がつくられた。

国会の開設へ

政府内でも、民権派が主張する国会開設や憲法制定の必要性については、おおむね意見が一致していた。そうした中で、大久保利通の死後に政府の中心となっていた大隈重信は、早期の国会開設や議院内閣制の採用などを主張した。しかし、大隈の急進的な主張が十分な相談もなしに行われたこともあって、伊藤博文らに不信をいだかせることになった。

同時期に、政府が北海道の開拓使が保有する施設を、不当に安い価格で政商に売却しようとしていたことが発覚し、民権派による政府批判が強まった。大隈が売却に反対していたこともあって、民権派の背後には大隈の存在があると考えられた。そこで伊藤らは大隈を政府から追放すると同時に、民権派の政府批判をおさえるため、天皇自らが1890(明治23)年に国会を開設すると公約した。これら一連の動きを明治十四年の政変と呼んでいる。この結果、伊藤博文を中心とする薩長藩閥が政府の実権をにぎることになった。

民権派は国会開設に備えて、政党を結成し始めた。1881(明治14)年に板垣退助が立志社を中心に自由党を結成すると、翌1882(明治15)年には大隈重信が立憲改進黨を結成した。しかしその後、政府による弾圧などもあり、自由民権運動は一時的に弱体化することになった。



▲4 川上音二郎のオッペケペー節の演説で主張を節をつけて歌ったという言葉が生まれた。自由党員二郎の「オッペケペー節」はそのペケは駄目という意味で、政治や目なところを歌って評判となった(川上音二郎「オッペケペー歌入夏」東京都江戸東京博物館蔵)

大橋鎮子(1920~2013)

1920(大正9)年東京都に生まれる。1946(昭和21)年に花森安治とともに衣裳研究所(現在の暮しの手帖社)を創立、社長兼編集者として『暮しの手帖』などを発刊した。『暮しの手帖』は、衣食住をテーマにした実践に基づいた情報や、洗濯機から国語辞典に至る、生活に関連した商品を幅広くあつかう、独自の商品テストなどが評判となった。広告スポンサーを付けて、商品テストの商品を常に定価で購入するなど、公正な姿勢をつらぬきつつ、大衆消費社会における、人々の貴重な情報源となった。東京都 暮しの手帖社

▲ p.273 「大橋鎮子」

用語解説

意味をとらえにくい用語のほか、高等学校での学習でも求められる概念を「用語解説」で解説して、深い理解をうながせるようにしました。



▲6 自由民権運動の演説会 東京都 国立国会博物館蔵

用語解説

民権派 自由民権運動に賛同する人々のこと。当初は土族が中心であったが、のちに地主(豪農)や商工業者が加わった。
議院内閣制 内閣総理大臣が国会議員の中から選ばれ、内閣が国会(主に衆議院)の支持によって成り立つ制度。

ステップアップ

人々が議会をつくることを求めた理由を考えてみよう。



近代化・西洋化・近代国家

近代化・西洋化・近代国家 日本の場合、近代化とは、ヨーロッパやアメリカを手本に、憲法に基づく議会政治の実現や、資本主義化の達成を目指すことを意味する。そのため、西洋化ともいう。また、近代国家とは、近代化または西洋化を実現した国家のことを指す。

大衆社会 以前のヨーロッパのような、階級ごとに生活様式が異なる階級社会とちがって、公務員やサラリーマンを中心にして、多数の人々が中流の生活様式を共有する社会のことを指す。

主な用語解説

市民、中央集権、朝廷、日本、立憲君主政、ナショナリズム、主権、近代的な憲法、社会権、インフレーション、人種主義、団地……

世界の歴史に関する充実した内容

世界の歴史を充実させるとともに、日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連を意識した記述にしました。また、各章の扉には、日本と世界のできごとを上下に分けて示す帯年表を付し、視覚的に流れをつかむことができるようにしました。

本教科書で扱う世界史分野

	アメリカ・ヨーロッパ	アジア・アフリカ
紀元前	人類の誕生と進化 (p.16-17)	古代文明の始まり (p.18-19)
1~	地中海文明の発展 (p.20-21)	中国文明と東アジア (p.22-23)
101~	2世紀の世界 (p.26-27)	宗教のおこり (p.24-25)
201~		4~5世紀の東アジア (p.34)
301~		唐の成立と東アジアの変化 (p.38)
401~		
501~		
601~	ルネサンスと宗教改革 (p.104-105)	東アジアの貿易と遣唐使派遣の中止 (p.54)
701~	8世紀の世界 (p.48-49)	西アジアとヨーロッパの交流 (p.78-79)
801~	西アジアとヨーロッパの交流 (p.78-79)	モンゴル帝国の拡大 (p.82)
901~		
1001~		
1101~		
1201~	13世紀の世界 (p.80-81)	
1301~		東アジアの変動と倭寇 (p.86)
1401~		
1501~	ヨーロッパ人の海外進出 (p.106-107)	ユーラシア大陸と海でつながる世界 (p.108-109)
1601~	市民革命の時代 (p.156-159)	16世紀の世界 (p.110-111)
1701~	産業革命と社会の変化 (p.160-161)	18世紀の世界 (p.150-151)
1801~	アメリカの発展とロシアの東方開発 (p.162-163)	ヨーロッパ列強のアジア侵略 (p.164-165)
		清と列強 (p.196)
		欧米の帝国主義 (p.190-191)
	ロシア革命 (p.216-217)	第一次世界大戦と国際関係 (p.214-215)
		韓国の植民地化・中華民国の成立 (p.198-199)
		アジアの民族運動 (p.220-221)
1901~	世界恐慌とその対応 (p.232-233)	ヴェルサイユ条約と国際関係 (p.218-219)
	ファシズムの台頭 (p.234-235)	第二次世界大戦 (p.242-243)
		イタリア・ドイツの降伏とポツダム宣言 (p.248)
		冷戦の時代とアジア・アフリカの独立 (p.262-263)
		冷戦の終結 (p.274-275)
2001~		今日の世界 (p.278-279)

2 節 国際協調の崩壊



▲大量生産される自動車 完成した自動車は並んでいる。流れ作業による大量生産によって、低価格化した自動車は広くアメリカに普及した。
▲株価暴落で混乱するウォール街 1929年10月24日木曜日、ウォール街の株式市場で株価の暴落が始まった。この日は「暗黒の木曜日」と呼ばれた。写真は2日のウォール街の様子で、株式の取引所に人が殺到している。

1 世界恐慌とその対応

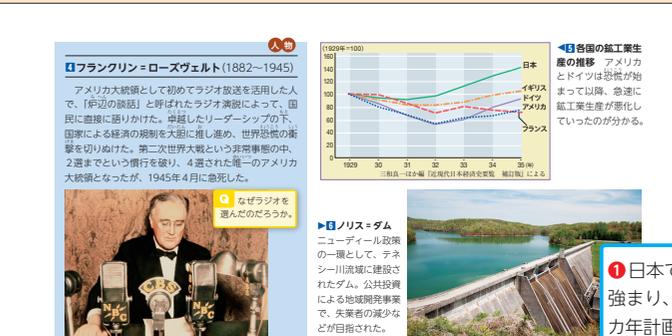
世界恐慌はどのように起こり、各国はどのような対応をしたのだろうか。



▲イギリスの失業者 看板には、何が書いてあるだろうか。

アメリカの大衆社会 第一次世界大戦中、アメリカは連合国に戦争に必要な物資や資金を貸付けて、債権国となった。アメリカ本土が戦場にならなかったこともあり、戦後のアメリカは今までにない経済発展を遂げた。ベルトコンベアによる流れ作業を導入したフォード社が、安価な自動車を大量生産するなど、大量生産・大量消費の時代をむかえ、洗濯機や冷蔵庫のような家庭電化製品も普及した。また、都市に勤務する公務員やサラリーマンが増え、ラジオ・映画、スポーツ観戦などの娯楽が多くの人の間に広まった。こうして1920年代のアメリカでは、大衆社会が出現した。

世界恐慌 1920年代後半、アメリカは第一次世界大戦の戦国であるドイツの経済を支援した。こうして、ドイツがイギリス・フランスに賠償金を支払い、イギリス・フランスはアメリカに債務を返済する、という体制を成立させることで、ヨーロッパ経済は安定した。ところがアメリカで、好景気によって過剰生産が起こったことをきっかけに、1929年にはウォール街のニューヨーク株式市場で株価が大暴落した。銀行や企業が次々と倒産し、街には失業者があふれた。アメリカがヨーロッパから資金などを引きあげ、大規模な工場建設が始まった。大衆社会 以前のヨーロッパのような、階級ごとに生活様式が異なる階級社会と違って、公務員やサラリーマンを中心として、多数の人々が中流の生活様式を共有する社会のことを目指す。



▲各国の工業生産の推移 アメリカとドイツは恐慌が始まって以降、急速に工業生産が復活していったのが分かる。
▲なぜラジオを選んだのだろうか。
▲日ノリスダム ニューディール政策の一環として、テネシー川流域に建設されたダム。公共投資による地域開発事業で、失業者の減少などが目指された。

日本では一部の官僚の間で計画経済への関心が強まり、満洲国(→p.238)ではソ連にならった五年計画が実施された。

▲日本の歴史との関連を意識した記述の例

第5章 近代の日本と国際関係

17世紀から19世紀半ばにかけて、市民革命・産業革命を遂げた欧米列強は、アジアへの進出を本格化させ、インドやペルシアなどの多くの国が欧米列強の植民地となりました。日本も「鎖国」から開国へと転じ、幕府の動乱を経て、明治維新が始まりました。欧米列強を模倣し、近世文明になることを目指し、「富国強兵」「殖産興業」「文明開化」などのスローガンを掲げ、近代化を進めていきます。1898(明治32)年には大日本帝国憲法を公布し、その翌年には帝国議会が開かれました。日清・日露戦争を経て、1911(明治44)年には不平等条約の改正に成功しました。欧米との関係が、日本の政治・経済・社会・文化にどのように影響したかを学びましょう。



▲イギリスの失業者 看板には、何が書いてあるだろうか。

日本と世界のできごとを上下に分けて示す帯年表を付し、視覚的に流れをつかむことができるようにしています。

大統領に就任したフランクリン・ローズヴェルトは、ニューディール(新垣まき直)政策で、景気の回復を目指した。失業者対策としてダムの建設などの公共事業が行われ、最低賃金や労働時間も政府によって管理され、規制されるようになった。ニューディール政策の経済的効果はそれほど目覚ましいものではなかったが、大統領が強力なリーダーシップをとったことが、国内の不安を和らげた。

各国の対応 世界恐慌を受けて、イギリスは植民地であるインドや、自治領であるカナダ・オーストラリアなどとの貿易を拡大する一方、それ以外の国々からの輸入には高い関税を設けた。フランスも同じように、植民地との貿易を強化した。このように1920年代の自由主義の風潮にかわって、各国が自らの経済圏をつくり、他国の商品を排除するブロック経済の形成が進んだ。これに対して、ブロック経済圏をつくるほどの植民地を持たないドイツ・イタリア・日本では、国外に新しく領土を広げて経済回復を図ろうとする動きが強まった。ソ連は、独自の社会主義体制を採っていたため、世界恐慌の影響をほとんど受けなかった。レーニンの死後、独裁的な権力者となったスターリンの下で、ソ連では計画経済に基づいた大規模な工場建設が始まった。農民も強制的に集団農場に編入され、穀物を国家に安価で提供させられた。ソ連の経済成長は、質よりも量を重視するものであったが、世界恐慌に苦しむ資本主義諸国に対しては、強い印象をあたえた。

2 世紀の世界

この時代、ユーラシア大陸の西と東には二つの大帝國が栄えていた。地中海周辺には、ローマが「ローマの平和」と呼ばれる繁栄をもたらした。東部アジアでは漢(後漢)が統一された。年皇北極や中央アジアにまで支配を及ぼした。二つの大帝國の間には、バルティアやフョウノ朝などの帝国が並び立つとともに、シルクロードや「海の道」と呼ばれる東西交通路が開け、人やモノの行き来が盛んになりました。



▲ローマの初期皇帝になったオクタウィアヌス →p.21
▲バルティアの侵入
▲バルティアの神廟
▲ローマの交通路
▲ローマの繁栄
▲ローマの平和
▲漢の繁栄
▲漢の統一
▲漢の繁栄
▲漢の統一
▲漢の繁栄
▲漢の統一

イスラエル

第一次世界大戦中にイギリスは、ユダヤ人とアラブ人の両方に対して、当時オスマン帝国領であったパレスチナに国家を建設することを認める密約を結んだ(→p.221)。大戦後、実際にはイギリスがパレスチナを統治したが、ユダヤ人は移住を進め、現地に住むアラブ人との摩擦が起こった。第二次世界大戦後、この摩擦は激しさを増したため、イギリスはパレスチナを放棄し、ユダヤ人はイスラエルを建国した。ユダヤ人が多く暮らすアメリカが、イスラエルを支援した。



▲イスラエルの建国宣言

▲現在の国際情勢との関連を意識した記述の例 (p.274)

各時代の世界

2・8・13・16・18世紀の世界を、地図と親しみやすいイラストで紹介するページを設け、各時代の世界の状況を通観して視覚的に理解できるようにしました。

美術作品や史料を読み解く力を養う 「歴史を考えよう」

「歴史を考えよう」では、美術作品や史料・地図、また現代の私たちにも深いかかわりのある憲法や選挙などを取り上げ、歴史の「思考力」を養うためのさまざまな工夫をしています。

歴史を
考えよう
④

江戸図屏風を読み解く

江戸図屏風は、17世紀前半の徳川家光のころの江戸の様子をえがいた絵画です。インターネットを利用すると、所蔵する国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)のウェブページで、全体から細部までの画像を見ることが出来ます。

江戸城と大名屋敷を読み解く

江戸城を見てみよう。どのような構造をしているだろうか。登城した大名はどのように感じただろうか。

江戸城に入る行列を見てみよう。どの行列だろうか。どのような目的でやってきたのだろうか。建ち並ぶ大名屋敷を見てみよう。大名の名前はどのように書かれているだろうか。どのような特徴があるだろうか。



家光を探せ

江戸図屏風には、家光とその家系。ウェブページの画像の中から家光はどこで、どのようなこと、図屏風がどのような目的でつくられたのかを考えてみよう。

取り上げられている問い

- 江戸城に入る行列を見てみよう。どの行列だろうか。どのような目的でやってきたのだろうか。
- 家光はどこで、どのようなことをしているだろうか。そこから、江戸図屏風がどのような目的でつくられたのかを考えてみよう。



日本橋周辺にえがかれた品物を見てみよう。どのような品物がえがかれているだろうか。品物はどのように運ばれてきたのだろうか。



歴史を
考えよう
⑥

第1回普通選挙の実態を探る

日清戦争後から普通選挙の実現を求める運動がありました。第一次世界大戦後に日本でも政治的に盛り上がり、1925(大正14)年に普通選挙法が成立し、1928(昭和3)年には第1回普通選挙が実施されました。第1回普通選挙について、有権者はどのように普通選挙と向き合い、また政治家は新たな選挙にどのように対応したのでしょうか。投票率と選挙ポスターの二つの側面から、当時の社会の様子の一瞥を探ってみましょう。

投票率から探る有権者の意識

年	選挙区	選挙権者総数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	性別	その他
1925(大正14)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1925(大正14)年
1928(昭和3)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1928(昭和3)年
1931(昭和6)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1931(昭和6)年
1935(昭和10)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1935(昭和10)年
1940(昭和15)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1940(昭和15)年
1945(昭和20)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1945(昭和20)年
1948(昭和23)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1948(昭和23)年
1952(昭和27)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1952(昭和27)年
1956(昭和31)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1956(昭和31)年
1960(昭和35)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1960(昭和35)年
1964(昭和39)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1964(昭和39)年
1968(昭和43)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1968(昭和43)年
1972(昭和47)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1972(昭和47)年
1976(昭和51)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1976(昭和51)年
1980(昭和55)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1980(昭和55)年
1984(昭和59)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1984(昭和59)年
1988(昭和63)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1988(昭和63)年
1992(昭和67)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1992(昭和67)年
1996(昭和71)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	1996(昭和71)年
2000(平成12)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	2000(平成12)年
2004(平成16)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	2004(平成16)年
2008(平成20)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	2008(平成20)年
2012(平成24)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	2012(平成24)年
2016(平成28)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	2016(平成28)年
2020(令和2)	第1回	4,225,111	1,879,111	44.5%	男性	2020(令和2)年

選挙ポスターから探る政治家の選挙活動

選挙ポスターは何かを呼びかけるものだろうか。



船にはられた選挙ポスター。雪だるまにはられた選挙ポスター。これらから、どのようなことが分かるだろうか。

二大政党である立憲政友会・立憲民政党の選挙ポスターはそれぞれ、何を示しているのだろうか。それぞれの選挙ポスターを見て、どのようなことが考えられるだろうか。



戦前の普通選挙で使用された選挙ポスターを取り上げました。これからの社会を担う中学生向けの主権者教育の一環としても利用できます。

「歴史を考えよう」ラインナップ

- 1 平安京と京都の街を考える p.56
- 2 マンガの源流、絵巻物を考える p.76
- 3 関所を考える p.95
- 4 江戸図屏風を読み解く p.134
- 5 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える p.178
- 6 第1回普通選挙の実態を探る p.228
- 7 大日本帝国憲法と日本国憲法 p.260

地域と歴史を繋げる力を養う 「地域からのアプローチ」

「地域からのアプローチ」では、地域を通じた歴史学習を紹介しています。地域の歴史について、特定の時期だけに注目するのではなく、各時代の歴史の展開や、文化財保護の取り組みをふまえて理解することで、歴史を学ぶことの現代的な意味を考えます。

地域からのアプローチ⑥

広島

中世から近現代に至るまでの広島の歴史について、さまざまな図版から考えます。

文化が豊かな広島を世界遺産から考えよう

1 地図から原爆の被害を受けた広島を考えよう

2 原爆ドームと平和公園から考えよう

3 復興と発展から考えよう

4 復興と発展から考えよう

5 復興と発展から考えよう

6 復興と発展から考えよう

7 復興と発展から考えよう

8 復興と発展から考えよう

9 復興と発展から考えよう

10 復興と発展から考えよう

11 復興と発展から考えよう

12 復興と発展から考えよう

13 復興と発展から考えよう

14 復興と発展から考えよう

15 復興と発展から考えよう

16 復興と発展から考えよう

17 復興と発展から考えよう

18 復興と発展から考えよう

19 復興と発展から考えよう

20 復興と発展から考えよう

21 復興と発展から考えよう

22 復興と発展から考えよう

23 復興と発展から考えよう

24 復興と発展から考えよう

25 復興と発展から考えよう

26 復興と発展から考えよう

27 復興と発展から考えよう

28 復興と発展から考えよう

29 復興と発展から考えよう

30 復興と発展から考えよう

31 復興と発展から考えよう

32 復興と発展から考えよう

33 復興と発展から考えよう

34 復興と発展から考えよう

35 復興と発展から考えよう

36 復興と発展から考えよう

37 復興と発展から考えよう

38 復興と発展から考えよう

39 復興と発展から考えよう

40 復興と発展から考えよう

41 復興と発展から考えよう

42 復興と発展から考えよう

43 復興と発展から考えよう

44 復興と発展から考えよう

45 復興と発展から考えよう

46 復興と発展から考えよう

47 復興と発展から考えよう

48 復興と発展から考えよう

49 復興と発展から考えよう

50 復興と発展から考えよう

51 復興と発展から考えよう

52 復興と発展から考えよう

53 復興と発展から考えよう

54 復興と発展から考えよう

55 復興と発展から考えよう

56 復興と発展から考えよう

57 復興と発展から考えよう

58 復興と発展から考えよう

59 復興と発展から考えよう

60 復興と発展から考えよう

61 復興と発展から考えよう

62 復興と発展から考えよう

63 復興と発展から考えよう

64 復興と発展から考えよう

65 復興と発展から考えよう

66 復興と発展から考えよう

67 復興と発展から考えよう

68 復興と発展から考えよう

69 復興と発展から考えよう

70 復興と発展から考えよう

71 復興と発展から考えよう

72 復興と発展から考えよう

73 復興と発展から考えよう

74 復興と発展から考えよう

75 復興と発展から考えよう

76 復興と発展から考えよう

77 復興と発展から考えよう

78 復興と発展から考えよう

79 復興と発展から考えよう

80 復興と発展から考えよう

81 復興と発展から考えよう

82 復興と発展から考えよう

83 復興と発展から考えよう

84 復興と発展から考えよう

85 復興と発展から考えよう

86 復興と発展から考えよう

87 復興と発展から考えよう

88 復興と発展から考えよう

89 復興と発展から考えよう

90 復興と発展から考えよう

91 復興と発展から考えよう

92 復興と発展から考えよう

93 復興と発展から考えよう

94 復興と発展から考えよう

95 復興と発展から考えよう

96 復興と発展から考えよう

97 復興と発展から考えよう

98 復興と発展から考えよう

99 復興と発展から考えよう

100 復興と発展から考えよう

取り上げられている問い

- 平将門はなぜ厳島神社を保護し、「平家納経」を奉納して何を願ったのだろうか。ほかにはだれが神社を保護したのだろうか。
- 呉市に「大和ミュージアム」、江田島市に海上自衛隊の学校があるのはなぜだろうか。

地域からのアプローチ④

金沢

「加賀百万石の城下町」として発展した金沢は、江戸時代には江戸・大阪・京都の三都に次ぐ大都市でした。金沢の歴史と現代について、さまざまな面から考えよう。

1 金沢城の変化から考えよう

2 名産品から考えよう

3 文化財保護から考えよう

4 文化財保護から考えよう

5 文化財保護から考えよう

6 文化財保護から考えよう

7 文化財保護から考えよう

8 文化財保護から考えよう

9 文化財保護から考えよう

10 文化財保護から考えよう

11 文化財保護から考えよう

12 文化財保護から考えよう

13 文化財保護から考えよう

14 文化財保護から考えよう

15 文化財保護から考えよう

16 文化財保護から考えよう

17 文化財保護から考えよう

18 文化財保護から考えよう

19 文化財保護から考えよう

20 文化財保護から考えよう

21 文化財保護から考えよう

22 文化財保護から考えよう

23 文化財保護から考えよう

24 文化財保護から考えよう

25 文化財保護から考えよう

26 文化財保護から考えよう

27 文化財保護から考えよう

28 文化財保護から考えよう

29 文化財保護から考えよう

30 文化財保護から考えよう

31 文化財保護から考えよう

32 文化財保護から考えよう

33 文化財保護から考えよう

34 文化財保護から考えよう

35 文化財保護から考えよう

36 文化財保護から考えよう

37 文化財保護から考えよう

38 文化財保護から考えよう

39 文化財保護から考えよう

40 文化財保護から考えよう

41 文化財保護から考えよう

42 文化財保護から考えよう

43 文化財保護から考えよう

44 文化財保護から考えよう

45 文化財保護から考えよう

46 文化財保護から考えよう

47 文化財保護から考えよう

48 文化財保護から考えよう

49 文化財保護から考えよう

50 文化財保護から考えよう

51 文化財保護から考えよう

52 文化財保護から考えよう

53 文化財保護から考えよう

54 文化財保護から考えよう

55 文化財保護から考えよう

56 文化財保護から考えよう

57 文化財保護から考えよう

58 文化財保護から考えよう

59 文化財保護から考えよう

60 文化財保護から考えよう

61 文化財保護から考えよう

62 文化財保護から考えよう

63 文化財保護から考えよう

64 文化財保護から考えよう

65 文化財保護から考えよう

66 文化財保護から考えよう

67 文化財保護から考えよう

68 文化財保護から考えよう

69 文化財保護から考えよう

70 文化財保護から考えよう

71 文化財保護から考えよう

72 文化財保護から考えよう

73 文化財保護から考えよう

74 文化財保護から考えよう

75 文化財保護から考えよう

76 文化財保護から考えよう

77 文化財保護から考えよう

78 文化財保護から考えよう

79 文化財保護から考えよう

80 文化財保護から考えよう

81 文化財保護から考えよう

82 文化財保護から考えよう

83 文化財保護から考えよう

84 文化財保護から考えよう

85 文化財保護から考えよう

86 文化財保護から考えよう

87 文化財保護から考えよう

88 文化財保護から考えよう

89 文化財保護から考えよう

90 文化財保護から考えよう

91 文化財保護から考えよう

92 文化財保護から考えよう

93 文化財保護から考えよう

94 文化財保護から考えよう

95 文化財保護から考えよう

96 文化財保護から考えよう

97 文化財保護から考えよう

98 文化財保護から考えよう

99 文化財保護から考えよう

100 文化財保護から考えよう

「地域からのアプローチ」 ラインナップ

- 1 奈良...p.46
- 2 福岡...p.58
- 3 平泉...p.68
- 4 金沢...p.148
- 5 札幌...p.205
- 6 広島...p.250
- 7 沖縄...p.276

明治時代以降の金沢の街について、地図や文化財保護の観点から考えます。

中学歴史 日本と世界 改訂版 教師用指導書

B5判 544ページ(予定)・2色刷・付属データ集

第5章 3節 富国強兵と殖産興業

p.176-177

本時の目標

明治維新後、政府は富国強兵をスローガンに、政府主導の殖産興業政策を推し進めた。この殖産興業政策の内容とその意図を理解する。具体的には、交通・通信の整備、官営模範工場、金融制度について、それぞれの政策を学ぶとともに、必ずしも願ったかかった事柄や、民間の人々が国家の近代化に尽力したことも認識する。

学習指導案

単元	発問	解答例	留意点・評価
導入	(教科書 p.176 図1) 図版を見て、「近代化」された事例をあげてみよう。	・蒸気機関車 ・人の衣服、帽子 ・客車、貨物車 ・レンガ造りの駅舎(女性は和服、男性は和洋混着) など	○日本人だけではできない技術を、外国の技術でつくったことを認識させる。
展開	<p>A 殖産興業に必要なお金の外国人の業績を調べてみよう。</p> <p>B 鉄道・海運について、どこの地域で利用されたか考えてみよう。</p> <p>C 電話や電報、郵便制度がどのように始まり、発展したか考えてみよう。</p> <p>D (教科書 p.177 図5) 図版を見て、富国強兵の様子を探ってみよう。</p> <p>E 殖産興業での官営事業には何があったか考えてみよう。</p> <p>学習指導案 政府はどのようにして殖産興業政策を進めたのだろうか。</p> <p>F 現在のお金について、知っていることをすべてみよう。</p>	<p>A (⇒ p.53 図A177)</p> <p>B 東京・横浜、大阪・神戸など、経済の先進地域や外国人の多い都市が中心だった。</p> <p>C 大都市から、全国各地に広がっていった(⇒ p.54 図A177)</p> <p>D 高い天井・レンガ造り・労働者女性(工女)・労働者舎</p> <p>E 造船所・炭鉱・紡績工場など。</p> <p>学習指導案 政府は膨大な国家予算を投じ、欧米から人材・設備・技術を導入して官営模範工場をつつていった。さらに経済を活性化させるために通信や輸送、郵便、金融制度の実装をはかった。</p> <p>F 10 憲法・単位は円・紙幣は日本銀行が発行・紙幣がない・造幣局で製造</p>	<p>○岩崎弥太郎・三菱商会の役割を考えさせる。</p> <p>○労働者の雇用の場、近代産業を学ぶ場であったことも認識させる。</p> <p>○明治政府の殖産興業政策の内容とその意図について理解する。(知・技)</p> <p>○現在のお金の原形が新貨条例で確立したことを説明する(図説と手帳の説明は難しい)。</p>
まとめ	富国強兵のための殖産興業が日本に何をもちたか考えてみよう。	経済の近代化が国家を豊かにし、欧米列強に追いつくとともに、国民生活にも大きな影響を与えたこと。	■国家主導ではあるが、岩崎弥太郎や渋沢栄一など、民間出身者も殖産興業に貢献したことに気づく。(徳)



新橋駅
駅舎の図を見て、蒸気機関車・客車・貨物車、レンガ造りの駅舎などに気づく。また、荷車から荷物を貨物車に載せていることがわかる。

発問の答え 江戸時代までは、貨物輸送は水が中心であり、大小の河川、郡市間の運河を利用しながら大都市へ海上輸送を行っていた。明治時代以降は、鉄道の普及によって大小の地方都市や山間部まで鉄道による貨物輸送がさかんになり、国内の産業構造にまで大きな変化を与えていった。また、人の往来もしだいに容易になっていった。

殖産興業
政府の経済近代化政策、とくに官営事業を中心とする工業化政策のこと。一般的には、世界資本主義体制に組み入れられた発展途上国が、自国経済を発展させるために行う開発政策をさす。明治政府主導の政策には無駄や失敗も多く、むしろ民間の経済活動が重要で、それと結びついた場合に殖産興業政策は成功している。

授業のアイデア ① お互いの外国人の業績を調べてみよう。

名前	国籍	業績
ナウマン	ドイツ	地質学者。フォッサ・マグナの研究にあたる。ケラマンゾウの化石は彼の名にちなむ。
モース	アメリカ	動物学者・生理学者。大森貝塚を発見した。
クラーク	アメリカ	農学者・教育者。札幌農学校教頭の際の「Boys, be ambitious」の言葉が有名。
フレムロサ	アメリカ	東洋・日本美術研究者。日本美術の再評価と海外への紹介に尽力。
ゴッダール	イギリス	建築家。近代建築を日本に普及。鹿島館・ニコライ堂など。
ロエスレル	ドイツ	大日本帝国憲法の制定に大きな影響をおよぼす。
ポアソナード	フランス	議法令の作成に尽力。起草した民法をめぐっては民法典論争が発生。
モッセ	ドイツ	市制・町村制、府県制・郡制の公布など、地方制度の確立に尽力。

Point 1 学習指導要領の3観点に対応した学習指導案

教科書の単元ごとに学習指導案(発問・解答例・評価および留意点)をご用意しました。評価については、学習指導要領の3観点(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に対応した評価規準を発問ごとに示しています。教師用指導書改訂版では、「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価項目を増やし、より充実させています。

Point 2 詳細な用語・図版解説

教科書掲載の歴史用語・図版について、単元への理解をより深め、歴史総合・日本史探究・世界史探究など高等学校での学習との連携を意識した、より詳細な解説を載せており、特に世界の歴史に関する記述を充実させています。また、教科書に掲載している発問やステップアップの解答例を示しました。

- ・教師用指導書には、学習指導要領の3観点に対応した学習指導案や、詳細な用語・図版解説などを収録し、授業にご活用いただける材料を盛り込みました。
- ・付属データ集には、教科書紙面データや授業用スライド・テスト例など豊富なコンテンツを収録しています。

※企画中のため、内容・仕様が変更になる場合があります。

① お互いの外国人

工部省・文部省が中心となって外国から技術者や研究者を高給で招いた。イギリスから最も多く、その他アメリカ・ドイツ・フランスなどが多かった。帝國大学(東京大学)や工部大学校で教鞭をとったり、各官庁での指導にあたりたりするなど、あらゆる分野で日本の近代化に貢献した。

② 鉄道の開通

日本の鉄道開通は、1869年に東京―京都を鉄道で結ぶ計画が出され、東京・横浜間、大阪・神戸間がまず優先された。東京(現在の新橋駅)・横浜(現在の桜木町)間は、イギリスの資本と技術で1872年9月に開業した。大阪・神戸間は1874年5月に開業し、77年2月に京都まで延長された。これ以降、政府の財政策で鉄道建設は一時中断され、東海道線(東京・神戸間)全通は1889年であった。

③ 岩崎弥太郎と三菱

岩崎弥太郎は土佐の郷土出身で、藩の通商機関で商才を発揮した。明治維新後、九十九商会について三菱商会をおこし、事業を拡張していった。郵便代船三菱商会が発足してからは、台湾出兵や西南戦争において政府軍の輸送を独占的に行い巨利を得て、政府として名をあげた。1882年には、三菱による海運業独占が問題となり、三井を中心に設立された共同運輸会社との激しい競争がおこって社会問題となった。1885年に政府が主導して三井と合併し、日本郵船会社となった。三菱は1886年に新たに三菱商会を創設して殖産興業に活動し、のちに日本郵船も支配下におさめ、国内航路から外国航路まで日本の海運業の中心を担っていった。また、のちに三菱合資会社を中心にコンツェルンを構成し、三井と並ぶ巨大財閥に成長して日本の近代資本主義の発展を担っていった。

④ 郵便・通信制度の確立

1871年3月、日数が不安定で費用もかかる飛脚制度から、全国一貫して安価な官営郵便制度が、前高島の建で創設された。当初、集配は郵便所と呼ばれ、3府のみに限られたが、1875年には郵便局として3566ヶ所に増大した。1883年には郵便規則が制定され、郵便の種類と料金が定められた。電話は1869年に東京・横浜間が開通され、全国に広がっていった。電話は1880年に東京・横浜市内と両市間で交換業務を開始され、大都市を中心に急速に増加していき、1900年に電信法、15年に無線電信法が公布された。

⑤ 殖産興業の推進

明治維新後、政府は富国強兵をスローガンとして、政府主導の殖産興業政策を推し進めた。この殖産興業政策の内容とその意図を理解する。具体的には、交通・通信の整備、官営模範工場、金融制度について、それぞれの政策を学ぶとともに、必ずしも願ったかかった事柄や、民間の人々が国家の近代化に尽力したことも認識する。

⑥ ステップアップ 政府が富国強兵・殖産興業をスローガンとした理由を総合的に考えてみよう。

江戶幕府の崩壊、新しい国家づくりが始まったばかり、財政難、列強のアジア進出による植民地化の恐怖、不平等条約の苦しみ

⑦ 工部省と内務省

工部省は1870年に殖産興業政策の中枢官庁として創設され、民部省から鉱山・製鉄・鉄道部門などが移された。西洋先進国の産業構造を日本に移植し、政府官営の官営事業を中心とした。目黒製鋼が創設した機関車・長崎造船所を管理し、大規模で欧米の新技術を導入したものが多かった。のちに財政上の負担となり、多くが民間に払い下げられ、民間制度発足とともにその役割を終えたが、民間企業発展の礎に立役した。内務省は1873年に大久保利通を初代内務卿として発足した。職制は殖産興業政策の推進、地方行政の指導、警察など、内政全般にわたる膨大な権力を有した。殖産興業においては、工部省の事業に比べて小規模で産業の改良・育成をおこなうし、軽工業・畜産畜業が中心で、民間の発展となるものを目指した。また警察(のち警視庁)は、全国の警察組織を一元的に掌握し、のちに社会運動や思想を取り締まる特高警察なども指導・監督した。

⑧ 官営模範工場

明治維新後、富国強兵政策の一環で、明治政府は幕府が経営していた鉱山や造船所を官営化するともに、官営事業として模範工場を各地に建設した。官営製糸場や各地の紡績所などであった。採算を考慮しない事業も多く、赤字経営のものが多かったが、各地の産業の発展に貢献した。1880年以降、有力な民間人に官営で払い下げられ、政府が指導に発展する土壌にもなった。

⑨ 民部の学芸官 金具女性で、身なりのよい人が働いている。

⑩ 官立銀行制度

殖産興業を目的に内務省、のちに農商務省が所管。1877～1905年に5回開業。第1回は1877年の西南戦争のさかんに東京上野公園で開業され、求職者は45万人をこえた。審査・受取の対象となる一般出資や官営模範工場の最新式機械などが全国から約8万5000点品寄せ、9ヶ所を券発した限額型に最高(新貨貨幣)が授けられた。第2・3回は東京、第4回は京都岡崎公園、第5回は大阪天王寺公園で開催された。新製品や質の高い品を展示して参観者を啓蒙し、その審査・奨励する形式はのちの共進会などに引き継がれた。

⑪ 貨幣制度

明治維新後、政府は太政官札(紙幣)・民部省札(小紙幣)を発行し、旧幕府発行の金銀銅貨・諸藩発行の藩札の回収、貨幣の統一による財政資金の補填、殖産興業の資金充当をはかった。しかし、この紙幣は不換紙幣であり、発行数の増加に伴って経済界は混乱し激しいインフレとなった。政府は1871年、欧米の金本位制をもとにした新貨条例を制定した。このときに発行された紙幣を「新紙幣」と呼ぶが、これも不換紙幣であり、信用に不安があった。純金2分(1.5g)のときに発行された紙幣を「一円金」と呼ぶが、これも不換紙幣であり、信用に不安があった。純金2分(1.5g)のときに発行された紙幣を「一円金」と呼ぶが、これも不換紙幣であり、信用に不安があった。純金2分(1.5g)のときに発行された紙幣を「一円金」と呼ぶが、これも不換紙幣であり、信用に不安があった。

⑫ 国立銀行条例

新紙幣が不換紙幣である限り、通貨の安定をはかれない政府は、当時アメリカ合衆国で行われたナショナル・バンク制度を導入した。1872年に定められた国立銀行条例である。これは政府公認の民間銀行が、資本金の6割の政府紙幣を大蔵省に納入し、かわりに交付される公債を大蔵省に預けて抵当とし、これと同額の銀行券の発行が認められ、残る4割の資本金は銀行の引換率にあてて金兌換を行うものである。しかし条件が厳しかったため、4行が設立されたにすぎなかった。そこで政府は1876年に条例を改正し、条件を緩和して正貨兌換を放棄したため、79年までに153行が設立された。国立銀行による資金供給は産業の発展に大きく寄与したが、その資金が投機にも利用されるとともに、西南戦争などによる通貨流通量の増大などによって、激しいインフレをもたらした。

⑬ ステップアップ 政府が富国強兵・殖産興業をスローガンとした理由を総合的に考えてみよう。

江戶幕府の崩壊、新しい国家づくりが始まったばかり、財政難、列強のアジア進出による植民地化の恐怖、不平等条約の苦しみ

目録の書き 新政府は欧米列強に追いつくために「強兵」つまり徴兵令による軍隊を整備し、それを与えるための経済力をつけるために「富国」を目指した。具体的には「殖産興業」、つまり欧米の技術を導入し、工業を発展させることで経済力をつけようとした。

参考文献
上田 日本史リブレット 085 活訳集——近代日本社会の創造者(山川出版社、2012年)
東部 日本史リブレット 059 近代化の旗手、鉄血(山川出版社、2001年)
中村 日本 歴史 明治維新(集英社、1992年)

Point 3 豊富な授業のアイデア

一つの単元につき2つから3つ程度の授業のアイデアを提示しているの、授業の進度に合わせてご活用いただけます。

授業のアイデアの例

最も重要な人類の発明は何か/ 仏教の「仏」とは何をさしているのだろうか/ なぜ北海道と南西諸島には稲作が普及しなかったのだろうか/ 都までの行程を現在の地図をみながらとってみよう/ 鎌倉幕府はいつ成立したのだろうか/ 座のメリット・デメリットについて考えよう/ 大航海時代に関連した地名を調べよう/ 中世と近世の違いは何か/ なぜ自由は女性として示されたのか/ 産業革命を評価しよう/ 明治時代の祝日と現在の祝日を比べてみよう/ 第一次世界大戦開始時の人々の心情/ なぜ吉野作造はデモクラシーの訳語を民本主義としたのか/ 資本主義と社会主義、どちらが有益であるか など

付属データ集 収録予定コンテンツ一覧

① 教科書紙面	PDF	教科書全ページの紙面データ
② 教科書本文テキスト	Word	本文・注・史料のテキストデータ
③ 教科書掲載地図・図版	JPEG	カラー／モノクロの画像データ
④ 教科書問い・解答一覧	Excel	問い・解答例の一覧
⑤ 指導書紙面	PDF	指導書全ページの紙面データ
⑥ 年間指導計画表・評価規準	Excel	カリキュラムに合わせて加工が可能
⑦ 授業用スライド	PowerPoint／Google スライド	教科書の単元ごとに構成。準拠ノートに対応
⑧ 定期テスト例	Word	教科書の章ごとに構成。小問ごとに評価規準を明記
⑨ 一問一答	Excel	教科書の章ごとに構成
⑩ 準拠ノート	PDF／Word	『中学歴史 日本と世界 ノート 改訂版』 全ページの紙面データ
⑪ 白地図集	JPEG	プリント用／黒板用の画像データ

※企画中のため、内容・仕様が変更になる場合があります。

付属データ集のダウンロード方法

付属データ集は「山川＆二宮 ICT ライブラリ」からダウンロードしてご利用いただけます



ダウンロード手順

- STEP ①** 山川 & 二宮 ICT ライブラリ (<https://ywl.jp/>) へアクセスしてください
※または、ブラウザから「ICT ライブラリ」で検索してサイトへアクセスしてください
 - STEP ②** トップバナーの [会員登録 / ログイン] から会員登録 (無料) してください
※すでに会員登録がお済みの先生は、登録済み ID でログインしてください
 - STEP ③** ログイン後、右上の アイコンから [ライセンス管理] ページへ進み、[ライセンス追加] をクリックし、画面の案内に従ってライセンスコードを入力してください
認証に必要なライセンスコードは、指導書の紙面に記載された 9 桁の数字です
※コードは半角数字でご入力ください
- ◎ ライセンス認証が完了したら、トップページ右上のマイライブラリ > マイコンテンツからデータをダウンロードしてご利用ください

①教科書紙面 ②教科書本文テキスト

- 教科書本文データを PDF / Word でご用意しました。用途に応じて使い分けができます。
- PDF はデータ容量が大きくなるように章ごとに分けています。



③教科書掲載地図・図版

- 教科書掲載図版のカラー／モノクロデータです。授業プリントや定期テスト作成などにご活用いただけます。



④教科書問い・解答一覧

- 教科書掲載の発問 (Q) ・学習課題 (冒頭の問い) ・ステップアップと解答例のテキストデータをご用意しました。

問	答
欧米列強の進出によって、世界はどのように変わったのだろうか。	アフリカに見られるように、世界の多くの地域が列強によって分割された。また、イギリス・フランスやドイツ・イギリス・ロシアなど列強どうしの対立が激化した。
万博は参加国にとって、どのような意義があったのだろうか。	自国の産業や文化を、他国だけでなく自国民へも誇示することができた。それによって、産業のさらなる発展をうながし、国への帰属意識を強めることができた。
帝国主義の列強と古代の帝国はどこが異なっているか、考えてみよう。	帝国主義の列強は、武力だけでなく経済力をも使いながら他地域を支配し、そのことによってさらに自国の経済を発展させた。

中学歴史 日本と世界 ノート 改訂版

B5判 224ページ+解答32ページ・2色刷 予価1100円(10%税込) ISBN978-4-634-08003-4

授業でも、自学自習でも使用可能なノートです。教科書の内容を、穴埋め形式で整理しています。

※企画中のため、内容・仕様が変更になる場合があります。

ノートをご採用いただきますと、特典として解答入りのWordとPDFデータを「山川&二宮ICTライブラリ」からのダウンロードでご提供いたします。



2

解答欄が原則として計20個(行)になるよう調整しました。授業前後の確認テストとしても使用可能です。

1

教科書の叙述に沿って前後関係をわかりやすくまとめました。見出しは教科書に揃えており、原則として教科書の段落に沿って内容を①・②と区分しています。

4

学習している時代がわかるよう、帯年表を設けました。

5

教科書見開き冒頭の学習課題を掲載しています。

6

教科書で黄色い枠で囲われている発問をピックアップして掲載しました。オリジナルの発問もあります。

3

教科書の重要語句を中心に空欄を設けました。理解したい内容(文章)を空欄にしている箇所もあります。

第4章 近世の日本 5節 幕藩体制の動揺

1 貨幣経済の発展と享保の改革

教科書 P.136-137

1 貨幣経済の発展

① 貨幣経済・商品流通の発達
問屋の下に商品が集められ、仲買や小売の手によって全国へ
→問屋や仲買によって、同業者団体(①)や組合が結成。
流通の独占や輸送中の事故の共同補償を図る
*(②)問屋(江戸)、(③)問屋(大坂)が代表的

② 村の動向
問屋が進出、百姓に道具・原料や資金を前貸しし、百姓が自分の家で作った製品を安く買い取る(④)が行われる

幕府や藩の財政難

① 米価の下落
新田開発の結果、米の価格が他の商品に比べ下落(⑤)
→武士の生活は、幕府や藩の出費増大により苦しくなる

② 幕府・藩の財政

a 諸藩：参勤交代
b 幕府：明暦の大火
c 諸藩：参勤交代の負担
d 幕府：明暦の大火の被害

享保の改革

① (⑥)(8代将軍 徳川吉宗)の「享保の改革」(和歌山県)の藩士が将軍に就任し、木付半と町奉行を
② 財政の再建

a (⑦)：支出をおさえる(質素・節約をすすめる)
b (⑧)：大名の参勤交代での江戸滞在期間を1年から半年にするかわり、石高1万石につき米100石を献上させる
c 年貢の増徴：年貢率を一定期間固定する(⑩)の採用、年貢率を上げる
d (⑪)の公認：米価安定をねらう
e (⑫)の公認：物価調節のため
→財政はやや持ち直したが、(⑬)の状態は解消できず

③ 江戸の都市政策

a 消防制度の整備：町奉行(⑭)による(⑮)の創設、広小路の設置
b (⑯)の設置：民衆の意見を聞くため
→医療施設である(⑰)の設置などにつながる

98 5節 幕藩体制の動揺

1 貨幣経済の発展と享保の改革 99

第3章 まとめ 中世の日本

教科書 P.100-101

1 農村にいたる武士の立場で考えてみよう

あなたは農村をまとめる武士です。最近、別の武士が支配する隣村の人々があなたの領地に立ち入ってきます。あなたはどのように対応するでしょうか。だれをたよれば効果的か考えながら、対応策を練ってみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	将軍に自らの領地の支配を保障してもらおう。
南北朝時代	()
室町時代	()
戦国時代	()

時代	特徴
縄文時代	弥生時代
古墳時代	飛鳥時代
奈良時代	平安時代
鎌倉時代	室町時代
戦国時代	安土・桃山時代
江戸時代	明治時代
大正時代	昭和時代
戦後時代	平成時代
令和時代	

④ その他の政策

a (⑬)の制定：幕府による(⑭)とする
b 飢饉対策：(⑮)
c 商品作物の生産：(⑯)
d (⑰)輸入制限

Q1 なぜ幕府や藩は財政難に苦しんだのだろうか。

Q2 徳川吉宗は幕府財政を再建するためにどのような政策を行ったのだろうか。

挑戦してみよう

萩生祖徠「政談」を読み、考えてみよう。

① 萩生祖徠は、幕府や諸藩が財政難におちいる原因をどのようにとらえているか。

② 萩生祖徠は、①の対策としてどのようなことを考えているだろうか。

ステップアップ

享保の改革後、萩生祖徠に対する幕府の政策はどのように変化していったのか、整理してみよう。

ステップアップ

享保の改革後、萩生祖徠に対する幕府の政策はどのように変化していったのか、整理してみよう。

第4章 5節 幕藩体制の動揺

自分たちの生活しながら、対応策

3 守護の立場で考えてみよう

あなたはある国の守護です。守護は幕府から任命される存在です。これから先も守護に任命されたいあなたは、どのようにふるまうでしょうか。幕府から守護として何を期待されていたかをふまえて、何をすべきか考えてみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	()
南北朝時代	()
室町時代	京都に住んで、幕府の政治に貢献する。
戦国時代	()

4 荘園領主の立場で考えてみよう

あなたは貴族(公家)で、京都からはなれた国に荘園を持つ荘園領主です。本来おさめられるはずの年貢が、なかなか届きません。それはなぜでしょうか。どのようにすれば解決できるでしょうか。対応策を考えてみよう。

時代	年貢が届かない理由	対応策
鎌倉時代	()	()
南北朝時代	()	()
室町時代	()	()
戦国時代	()	()

歴史へのアプローチ

アイヌ民族の歴史と文化

アイヌ民族の世界

① 北海道を中心とする(①)文化と、オホーツク海沿岸の(②)文化が接触し、新たな文化を形成

② 13世紀、樺太へ進出し、本州北端・蝦夷ヶ島から千島列島全域・樺太南部一帯で、アイヌ民族の世界を形成

十三歳の繁栄とアイヌ民族

① アイヌ民族との交易

① 14世紀、(③)を根拠地とした(④)氏がアイヌとの交易で繁栄

② 15世紀、和人を束ねる館主が登場。館の一つの(⑤)の近くでは、大量の銅銭が発掘

② アイヌ民族の戦い

15世紀半ば、館主との交易に不満を持つアイヌ民族が(⑥)を指導者として館主と戦うも、敗れる

→以後、編み氏(のちの松前氏)が和人類主の象徴に

近世のアイヌ民族

① 周辺国との交易

日本・中国・ロシアと盛んに交易 例：(⑦)の毛皮

② 松前藩の支配

① 日本との交易は松前藩が独占

② (⑧)の戦いでアイヌ民族が松前藩に敗れ、次第に松前藩の支配が強化

アイヌの伝統文化

① 衣食住

寒冷地に適した、(⑨)という衣服や、(⑩)という履物

② 祭礼

① 周の文化を取り入れながら、アイヌの文化を継承

・熊の魂を神の国に送る(⑪)

② アイヌの伝統文化は

「まとめ」ページや、一部の「歴史へのアプローチ」ページもご用意しております。

デジタル教科書は「指導者用」「学習者用」ともに、各端末のブラウザでクラウドサーバーにアクセスしてオンライン環境にてご利用できる〈クラウド版〉をご用意しています。



直感的に使いやすいビューアは

みらいスクールプラットフォーム を使用しています。

サンプル版はこちら



◀ 指導者用



◀ 学習者用

「指導者用デジタル教科書(教材)」 「学習者用デジタル教科書」 共通機能

	検索	用語を入力して掲載ページを検索・移動します。		道具	タイマー、ふせん、ポインター、リンク貼り付けなどが使用できます。
	ペン マーカー	色、透明度、太さの設定が変更できます。		記録	書き込みをした内容の保存、読み込みができます。
	図形 スタンプ	図形は色、透明度、太さが選べます。スタンプは初期登録の素材の他、画像データを読み込んで貼ることができます。		表示設定	全画面表示への切替えや、紙面上のクリックポイントの表示などの設定ができます。
	消す	消しゴムでの部分消去や全消去、「元に戻す/やり直す」操作ができます。		ズーム	紙面の拡大表示ができます。
	リンク	教科書紙面の2次元コードは動画や文書のアイコンとなっており、動画視聴Webサイトや関連コンテンツへとリンクします。 ※オンライン環境が必要です。			

【クラウド版】

【校内フリーライセンス】

- 小社からライセンス証・学校管理者向けスタートガイドをお送りします。スタートガイドに沿って初期設定の作業をしていただくことで、完了後、ライセンス証記載のご利用開始日よりご利用いただけます。
- オンライン環境にて、各利用者端末のブラウザから当社指定のクラウドサーバーへアクセスしてご利用ください。

	指導者用デジタル教科書(教材)	学習者用デジタル教科書
クラウド版利用期間	教科書ご利用期間内(最長4年間)	教科書ご利用期間内(最長3年間)
ライセンス形態	学校内フリーライセンス ご購入いただくことで、学校内の指導者用端末で何台でもご利用が可能です。ライセンス有効期間は4年間となります。	1ユーザー1ライセンス 必要な人数分のライセンスをご購入いただき、学習者用端末でご利用ください。紙の教科書のご利用期間中はライセンスが有効となります。
利用者端末 動作環境	動作保証環境 ● iPad OS [®] ブラウザ: Safari ● Chrome OS [®] ブラウザ: Google Chrome ● Windows 10/11 ブラウザ: Microsoft Edge・Google Chrome ※iPad OS・Chrome OSはクラウド版、または学校内Webサーバー環境のみご利用可能。インストール版(DVD版)の端末インストールはご利用いただけません。	
基盤システム	デジタル教科書の提供・表示ビューアの基盤となるシステムとして「みらいスクールプラットフォーム」(https://www.mirai-school.jp/platform/)を採用しています。 専用のビューアはMicrosoft Edge、Google Chrome等のブラウザで動作します。	

※紙の教科書をご採用いただいた場合に限り、対応する「指導者用デジタル教科書」「学習者用デジタル教科書」のライセンスをご購入いただくことが可能です。
※本資料のデジタル教科書の画面イメージ・記載内容は開発中の情報を含むため、製品版において変更になる場合があります。

教育基本法との対応

教育基本法第 2 条	教科書における対応
<p>第 1 号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<p>①全体を通してわかりやすい叙述を心がけ、テーマを設定して歴史的に深く掘り下げる「歴史へのアプローチ」や、地域の歴史を考える「地域からのアプローチ」を踏まえることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。</p> <p>②各ページに設定した豊富な発問や、取り上げた課題を話し合い、考察しながら学ぶ「歴史を考えよう」、章末の「まとめ」のページを通して、真理を求める態度を養うことができるようにしました。</p> <p>③各時代の人々の生活 (p.72-73 など) や、人々の社会との関わり (p.94 など)などを示すことで、当時の人々の考え方を知り、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。</p> <p>④オリンピック・パラリンピックの記述や図版 (p.272-273,280 など)、第 1 章 2 節「身近な地域を調べよう」(p.8-13)におけるフィールドワークを通して、健やかな身体を養えるよう配慮しました。</p>
<p>第 2 号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<p>①「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページをはじめ、課題や発問を置くことで、生徒一人一人が課題を追究できるように工夫しました。そうした学習から個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮しました。</p> <p>②歴史上の人物の生涯や考え方を紹介する「人物コラム」を豊富に設けました。社会を動かした個人の働きに着目することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。</p> <p>③本文にはユニバーサルデザインフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインを取り入れることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことに配慮しました。</p> <p>④産業や技術に関する記述 (p.202-204,206-207 など) や、職業に関する記述 (p.230,273 など) などから、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しました。</p>
<p>第 3 号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>①人権・差別・平等などに関する記述や、歴史を多面的・多角的に捉えた記述などを通し、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことに配慮しました。</p> <p>②当時の社会における正義感や責任感がどのようなものであったのか学べるようにし (p.20,94 など)、正義と責任を重んずる配慮をしました。</p> <p>③男性中心に偏りがちな歴史叙述のなかで、女性の活躍が学び取れるよう、女性を取り上げた人物コラム (p.159,273 など) や「戦後の女性と社会」に関する年表 (p.259) を設け、男女の平等を重んずる配慮をしました。</p> <p>④各ページに設定した豊富な発問や、取り上げた課題を話し合い、考察しながら学ぶ「歴史を考えよう」などの活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んずる態度が身に付くよう配慮しました。</p> <p>⑤中世の民衆が主体的に社会の形成に参画した事例を紹介し (p.93,94)、日本や世界が抱える現代の諸課題について考察する内容 (p.276-283 など) を設け、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。</p>
<p>第 4 号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>①本文叙述や図版の中で、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫しました (p.143-145,206-207,283 など)。</p> <p>②持続可能な開発目標 (SDGs) に関連する、現代の世界が抱えている課題や、それに対する解決策を探究することで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫しました (p.283)。</p>
<p>第 5 号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>①世界遺産や国宝に指定された文化財にマークを示して数多く紹介するとともに、各時代の文化を扱い、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。</p> <p>②「地域からのアプローチ」では、地域の歴史や伝統文化などに焦点を当て、我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。</p> <p>③現在の日本の領土が画定する過程を丁寧に解説し、我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。</p> <p>④世界史分野の記述を充実させ、親しみやすいイラスト中心のページ (p.26-27 など) を設けることで、他国を尊重するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。</p>

検討の観点

指導要領との比較検討の観点	教科書における対応
中学校社会科歴史的分野で育成をめざす資質・能力	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> *各時代の専門家(大学)と中学校で教える教員が、話し合いを重ねて練り上げた内容を、中学生に理解できる文章で記述しています。 *各単元が、学習課題→本文→ステップアップによる振り返り、という流れで統一され、知識・技能を身につける構造になっています。 *第1章「歴史との対話」では、歴史を学ぶための基礎知識と、歴史の調べ方を示し、歴史学習に必要な技術が習得できる工夫をしています。 *本文に出てくる難しい用語には同じページに「用語解説」や側註をつけ、生徒の理解を助ける工夫をしています。 *グローバル化に対応し世界史分野をふやす学習指導要領の趣旨をふまえ、世界史の叙述を充実させています。
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> *各単元の学習課題、ステップアップの課題、図版に付した発問など、各所に設けた発問を自ら考え、判断する力を身につけられる工夫がされています。 *政治史のみならず、社会・経済史や文化史も充実した叙述になっており、多面的・多角的な考察ができます。 *さまざまな立場を考慮した叙述を心がけ、価値観の異なる立場の資料も取り上げています。
学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> *基本的に見開き2ページとし、授業時数135で無理なく学べる全体構成になっています(→パンフレットp.6-7目次と配当時間例参照)。 *大きな紙面(AB判)を利用して図版を大きく、みやすく、発問によって、どこに注目すべきかの示唆を与え、歴史への興味関心を呼ぶ工夫をしています。 *p.8「身近な地域を調べよう」は、実際の中学生を想定し、調査の順序、注意事項を示し、生徒が主体的に取り組むことを促す工夫をしています。
内容の取り扱い	
ア 生徒の発達の段階を考慮して、各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容を構成すること。	<ul style="list-style-type: none"> *教科書の構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って、歴史の流れを理解できるようになっています。 *各章の扉(p.14、62、102、154、212、254)に古代・中世・近世・近代・戦間期・現代の各時代の帯年表を入れ、一目でその時代の日本と世界の大きな流れが理解できる工夫をしています。 *章末には「まとめ」のページをおき、時代ごとの復習ができます。
イ 調査や諸資料から歴史に関わる事象についての様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける学習を重視すること。その際、年表を活用した読み取りやまとめ、文献、図版などの多様な資料、地図などの活用を十分に行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> *史資料を多く入れることで、歴史における史資料の重要性を中学生のうちから学べるよう工夫しました。史資料には、発問を付し、生徒が活用できる工夫を凝らしています。 *p.56「歴史を考えよう① 平安京と京都の街を考える」では、京都の地図や史資料から平安京について考え、興味をもたせる工夫をしています。 *p.228「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」では、さまざまな史資料から、普通選挙の実施された当時の様子を考えさせる工夫をしています。 *p.260「歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法」では、二つの憲法の共通点、相違点を考えさせる工夫をしています。
ウ 歴史に関わる事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学習内容の確かな理解と定着を図ること。	<ul style="list-style-type: none"> *本文は因果関係を意識して記述し、歴史の事象とその背景となった時代の特徴、意味や意義をわかりやすく説明しています。 *p.74の発問「鎌倉時代にはどのような仏教の新しい教えが生まれ、どのように広まっていったのだろうか。」などにより、歴史が変化する過程でおこる諸課題が、どのような時代を背景に生まれ、どのような影響をおよぼしたのかを考えさせるような発問を用意しています。 *「歴史を考えよう」「地域からのアプローチ」では、課題や発問を付し、グループ活動をとって意見を交換したりする力を身につけさせる工夫をほどこしています。
エ 各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させるようにすること。	<ul style="list-style-type: none"> *p.37 飛鳥文化、p.44 天平文化、p.51 弘仁・貞観文化、p.54 国風文化、p.74 鎌倉時代の文化、p.98 室町時代の文化、p.118 桃山文化、p.133 元禄文化、p.142 化政文化、p.208 明治の文化、p.230 大衆文化、p.272 戦後の文化など、各時代の文化の代表例を示し、特色を考察させています。 *p.76「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」では、絵巻物を紹介しながら、なぜ中世に絵巻物が盛んにつくられるようになったか考えさせる工夫をしています。 *p.144「歴史へのアプローチ⑤ 都市の暮らしと名所」では、都市史研究の成果を教科書に取り入れ、当時のガイドブックといってもよい名所図会をとおり、都市・娯楽・環境などを考えさせる工夫をしています。
オ 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考察させるようにすること。その際、歴史に見られる文化や生活の多様性に気付かせること。	<ul style="list-style-type: none"> *p.32「歴史へのアプローチ① 中国の記録に見る日本列島」では、中国の史料にみる日本の情報から当時の交流を考えさせます。 *p.38「唐の成立と東アジアの変化」では、唐の情勢や朝鮮半島の状況と日本の関係を考えさせます。 *p.68「地域からのアプローチ③ 平泉」では、国風文化とともに日宋の交易も意識させる工夫をしています。 *p.88「歴史へのアプローチ③ 琉球の歴史と文化」、p.90「歴史へのアプローチ④ アイヌ民族の歴史と文化」では、琉球とアイヌ民族がどのような歴史をたどってきたかを紹介しています。 *p.185「歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生」では、生徒たちと年齢の近い女子たちがアメリカに留学で派遣されたことを紹介することで、国際交流を理解させるとともに、歴史を身近に感じさせる工夫をしています。 *p.200「歴史へのアプローチ⑧ 日本の植民地」では、生徒が理解しにくい、日本の植民地政策をわかりやすく紹介しています。

内容の取り扱い	
カ 国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産について、生徒の興味・関心を育てる指導に努めるとともに、それらの時代的背景や地域性などに関連付けて考察させるようにすること。その際、身近な地域の歴史上の人物と文化遺産を取り上げることに留意すること。	<ul style="list-style-type: none"> *p.25 イエス、p.39 持統天皇、p.52 菅原道真、p.82 竹崎季長、p.85 足利義満、p.97 日野富子、p.99 雪舟、p.105 レオナルド＝ダ＝ヴィンチとミケランジェロ、p.106 コロンブス、p.109 鄭和、p.112 フランシスコ＝ザビエル、p.121 徳川家康、p.132 新井白石、p.137 徳川吉宗、p.138 田沼意次、p.140 松平定信、p.141 大黒屋光太夫と高田屋嘉兵衛、p.146 大塩平八郎、p.147 水野忠邦、p.158 ナポレオン、p.159 オランブ＝ド＝グージュ、p.161 マルクス、p.162 リンカン、p.169 吉田松陰、p.177 渋沢栄一、p.184 知里幸恵・尚泰、p.187 西郷隆盛と大久保利通、p.188 伊藤博文、p.191 ビスマルク、p.192 井上馨、p.193 陸奥宗光・小村寿太郎、p.194 李鴻章、p.195 山県有朋、p.199 孫文・袁世凱、p.207 田中正造、p.208 樋口一葉、p.219 新渡戸稲造、p.221 ガートルード＝ベル、p.222 桂太郎、p.224 原敬、p.233 フランクリン＝ローズヴェルト、p.237 浜口雄幸、p.262 近衛文麿、p.263 ホー＝チ＝ミン、p.267 佐藤栄作、p.273 大橋鐮子の52人を人物コラムで取り上げています。 *p.178「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」では日本の殖産興業について深く学ばせることができます。
キ 歴史に関わる事象の指導に当たっては、地理的分野との連携を踏まえ、地理的条件にも着目して取り扱うよう工夫するとともに、公民的分野との関連にも配慮すること。	<ul style="list-style-type: none"> *主権者教育の観点から取り扱うように配慮された公民分野については、p.21「古代ギリシアの民主政治は、現代の民主政治とどこが異なるのか、対比して整理してみよう」、p.189「今と昔で選挙の様子はどのように変化しているだろうか」といった発問も用意しています。 *地理的分野とも関係する日本の領土については、p.268「歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷」で、北方領土、竹島、尖閣諸島の歴史を紹介しています。 *p.130「コラム 富士川の開削」では、地理的分野とも関係する河川の利用について記述しています。
ク 日本人の生活や生活に根ざした文化については、政治の動き、社会の動き、各地域の地理的条件、身近な地域の歴史とも関連付けて指導したり、民俗学や考古学などの成果の活用や博物館、郷土資料館などの施設を見学・調査したりするなど具体的に学ぶことを通して理解させるように工夫すること。	<ul style="list-style-type: none"> *ユネスコの世界文化遺産と日本の国宝の写真にはマークを付し、みてわかるよう配慮しています。見返しには日本の世界遺産を示しています。 *7カ所の地域(奈良・福岡・平泉・金沢・札幌・広島・沖縄)を取り上げた「地域からのアプローチ」を用意し、各地域から時代を通じて歴史をみる視点、民俗学や考古学の成果や活用、博物館や史跡・遺跡の紹介・活用を示しました。 *p.8「身近な地域を調べよう」では荒川ふるさと文化館を、p.58「地域からのアプローチ② 福岡」のコラムでは九州国立博物館や浦清市立埋蔵文化財センターを取り上げ、博物館や郷土資料館への見学・調査を促しています。
その他	
小学校との接続への配慮	<ul style="list-style-type: none"> *全体をとおし、小学校で学んだ人物・歴史の知識をふまえ、学べるような記述になっています。 *p.7「歴史を大きく変えた人物」では小学校で学習した人物を手がかりに、時代の区分を学ぶことができます。
高等学校との接続への配慮	<ul style="list-style-type: none"> *高等学校学習指導要領で目標として掲げられている、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えること、概念などを活用して多面的・多角的に考察することの基礎を身につけることができるよう留意しました。 *高等学校の教科書で扱う史資料を口語体にしたり、ポイントを絞って示したりして、中学生に理解しやすい形で示しています。 *高等学校の教科書の文体に慣れるため、「です・ます」調ではなく「である」調にしました。 *各単元の基本の色彩を日本史と世界史でわけ、今学んでいることが日本のことが世界のことが、すぐわかるような工夫をしています。 *前近代と近現代でも、ベースに使用する色彩をわけました。これは近現代が高等学校の「歴史総合」に繋がる部分であることを意識しています。
SDGs(持続可能な開発目標)を学ぶために役立つ箇所	<ul style="list-style-type: none"> 【全体に関わる箇所】 p.278 今日の世界、p.280 今の日本、これからの日本 【4 質の高い教育をみんなに】 p.173 教育制度の改革、p.208・230 教育の普及、p.259 教育制度の変化 【5 ジェンダー平等を実現しよう】 p.185 歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生、p.206 製糸工女の実態、p.219 女性参政権、p.226 青鞜社、p.230 職業婦人 【7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに／8 働きがいも経済成長も／9 産業と技術革新の基盤をつくろう】 p.160 産業革命、p.176 富国強兵と殖産興業政策、p.178 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える、p.202 日本の産業革命と経済の発展、p.270 高度経済成長 【10 人や国の不平等をなくそう】 p.156 市民革命の時代、p.162 奴隷解放宣言、p.163 農奴解放、p.186 自由民権運動と国会開設、p.205 地域からのアプローチ⑤ 札幌、p.220 アジアの民族運動、p.228 第1回普通選挙の実態を探る 【11 住み続けられるまちづくりを／12 つくる責任つかう責任】 p.144 都市の暮らしと名所、p.148 地域からのアプローチ④ 金沢、p.161 産業革命と人々の暮らし、p.207 田中正造(公害問題)、p.270 過疎化と公害問題 【15 陸の豊かさも守ろう】 p.160 プランテーションと自然破壊 【16 平和と公正をすべての人に】 p.218 国際連盟、p.250 地域からのアプローチ⑥ 広島、p.261 歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法、p.262 国際連合、p.264 サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約
カラーユニバーサルデザイン・特別支援教育への配慮ほか	<ul style="list-style-type: none"> *地図・グラフをはじめ資料は、色覚の個人差を問わず、多くの人にみやすいカラーユニバーサルデザインを配慮して作成しています。色彩のみでなく、線種・記号などで差をつける工夫もしています。 *本文はユニバーサルデザインフォントを使用しています。 *本文、図版、キャプションなど、難しい漢字にはふりがなを付しています。固有名詞・歴史用語にはすべてふりがなを付しています。 *この教科書は、環境に配慮した紙(再生紙)と植物油インキを使用しています。 *この教科書は針金を使用しないPUR製本です。 *拡大教科書を発行いたします。

山川出版社ホームページ 収録データ 一覧

下記データは小社ホームページまでアクセスください。

●『中学歴史 日本と世界 改訂版』特設サイト ▶▶▶



●『中学歴史 日本と世界』(歴史708)からの おもな変更箇所一覧 ▶▶▶



●年間指導計画表・評価規準 ・サンプル版 ▶▶▶



●指導者用デジタル教科書(教材) ・サンプル版 ▶▶▶



●学習者用デジタル教科書 ・サンプル版 ▶▶▶



Topic!

●観点別評価集計表 Excel

観点別評価の集計に便利なExcelファイルをご用意しました。
学校の先生が実際に使用しているシートです。
ホームページよりダウンロードしてご活用ください！



●『山川&二宮ICTライブラリ』 紹介サイト

約16,000点の地歴・公民のデジタルコンテンツが使い放題！
授業準備やテスト問題作成が効率的に行えます。

